



# CSR REPORT 2025

「美と健康」を通じて、  
より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします。

## 企業理念

# 「美と健康」を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします。

『新たな価値を提供するクリエイター』として、世界の人々の豊かな暮らしに貢献し続ける。

岩瀬コスファは創業以来、約90年にわたり化粧品原料・健康食品原料を取り扱い、取引先との連携によるオリジナル原材料の開発・提案を行ってきました。

これからもいままで培ってきた技術・経験を生かし、世界の化学産業へ貢献いたします。

サステナブル・SDGsを基軸とする新たな潮流に対応し、売り手・買い手・世間の「三方よし」の精神を体現し、人々の美しさと健やかさを創造する経営を推進いたします。

## CSR方針

### 1. お客様へ

- ・法令を遵守いたします。
- ・顧客情報や個人情報適切に取り扱います。
- ・正確な商品情報を提供します。
- ・顧客や取引先の要望に応え得る知識と技術の向上を目指します。

### 2. パートナー企業様へ

- ・公正、公平、誠実さを持って、適切な取引を行います。
  - ・労働基準法、国際労働機関（ILO）ならびに国際連合による国際基準や条約を遵守します。
  - ・あらゆる形態の強制労働および有害で危険な児童労働を行わないことはもちろん、取引先がそれらを行なうことも認めません。
- また、そのような労働により生産された原材料もしくはそれらを使用した製品を購入することはありません。

### 3. 従業員の皆様へ

- ・労働安全に配慮し、働きがいのある快適な職場環境づくりを行います。
- ・コミュニケーションを重視し、透明性の高い組織づくりを目指します。
- ・女性の登用を推進します。

### 4. 環境への配慮

- ・環境保全活動を推進します。
- ・環境負荷の少ない製品の普及に努めます。

### 5. 社会貢献/地域貢献活動

- ・地域の一員として、地域や社会との関わりを大切にしていきます。
- ・地域貢献活動、社会貢献活動に積極的に参加していきます。

### 6. 報告

- ・上記の内容に準じ、社内外に取り組みを認知していただくために、1年に1回CSRレポートを発行します。



# 企業情報

## 会社概要

商号	岩瀬コスファ株式会社 英文名 IWASE COSFA CO., LTD.
創業年月日	1931年(昭和6年)9月15日
設立年月日	1948年(昭和23年)7月29日
本社所在地	〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番11号 TEL. 06-6231-3456 FAX. 06-6231-8109
代表者	代表取締役社長 岩瀬 由典
資本金	1億円
従業員数*	単体:211名(派遣労働者を含む) 連結:363名
売上高**	連結:49,911百万円
営業利益**	連結:3,102百万円

\*従業員数、売上高、営業利益(2024年12月末現在)  
詳細はこちらをご覧ください: <https://www.cosfa.co.jp/company/overview/>

## 事業内容

- 化粧品原材料・医薬品原料・ハウスホールド用品原料・工業用原料・電子材料の販売及び輸出入
- 機能性食品・栄養補助食品原料・食品添加物の販売及び輸出入ならびに受託製造
- 非臨床・臨床試験の受託

## 関連会社

### 海外現地法人

- 科絲發国際貿易(上海)有限公司
- 科絲發国際貿易(広州)有限公司
- IWASE COSFA EUROPE S.A.S
- IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.
- IWASE COSFA KOREA CO., LTD.
- IWASE COSFA USA INC.
- IWASE COSFA (Thailand) CO., LTD.
- PT. IWASE COSFA INDONESIA
- IWASE COSFA MOROCCO SARL

### 国内関連会社

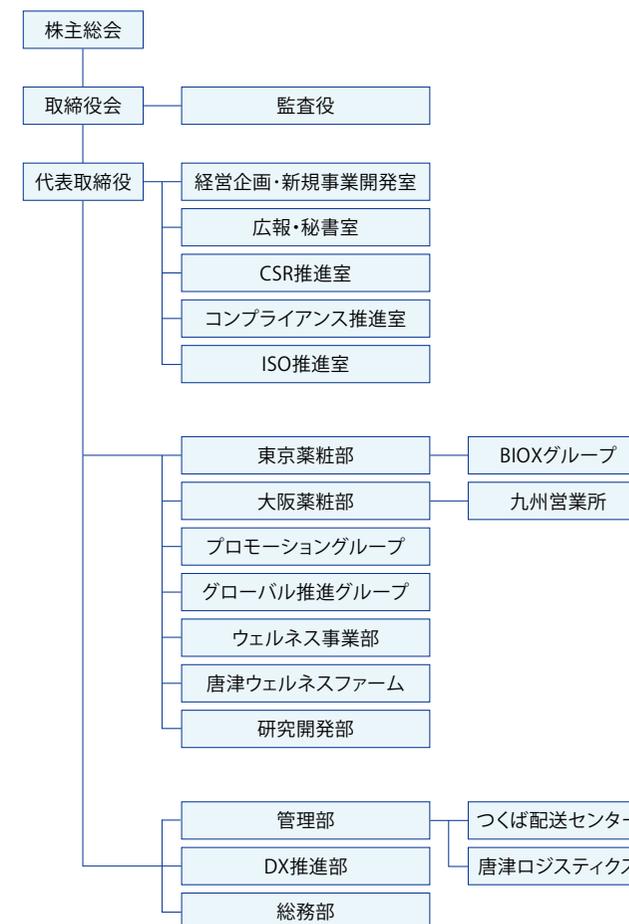
- 大日本化成株式会社

### その他の関連会社\*\*

- 東洋ビューティ株式会社
- ビーエイチエヌ株式会社
- デジタル革命株式会社

\*\*本CSRレポートにおける報告対象外。

## 組織図



# 企業情報

## グローバルネットワーク

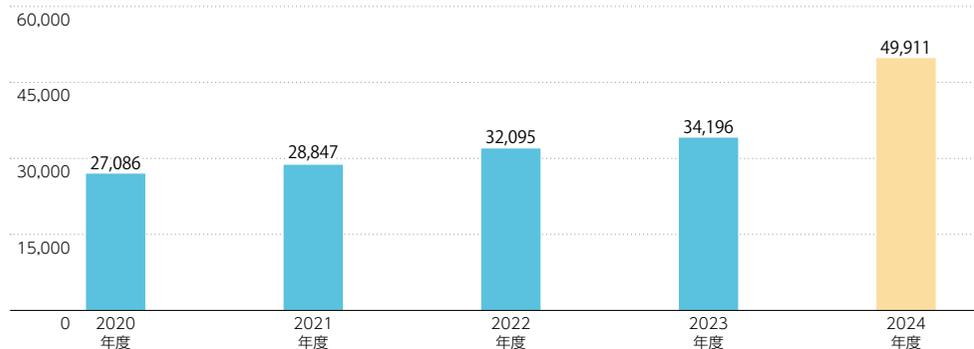


※詳細はこちらをご覧ください: <https://www.cosfa.co.jp/company/location/>

# ハイライト

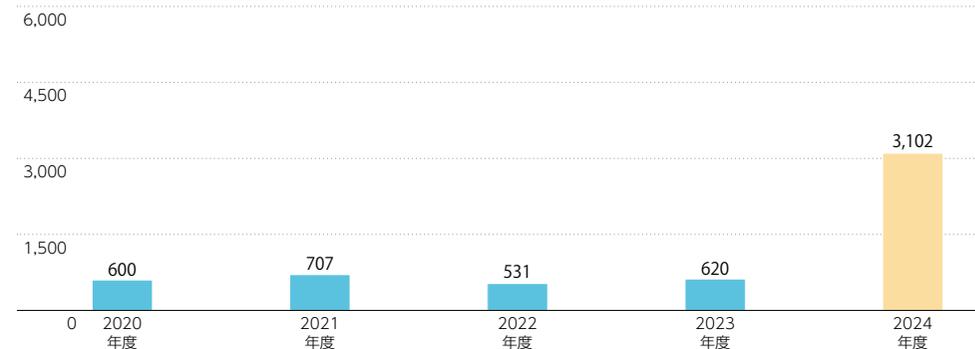
## 財務指標

売上高  
(百万円)



■単国内単体 ■会社連結 (計算日のMUFG公示相場を適用)

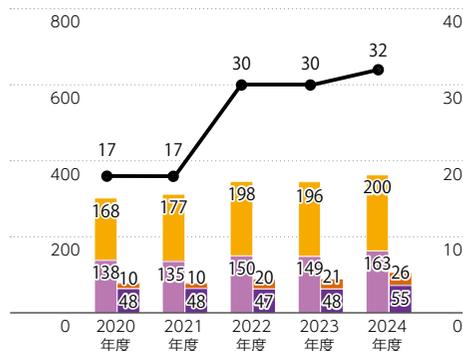
営業利益  
(百万円)



■単国内単体 ■会社連結 (計算日のMUFG公示相場を適用)

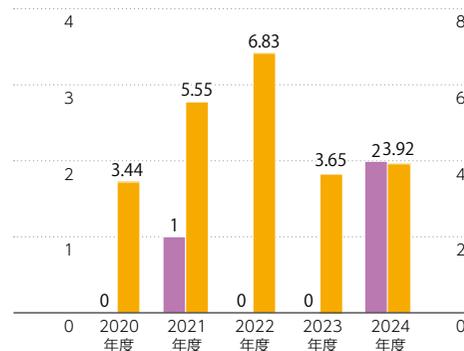
## 非財務指標

従業員数(男女別)・女性管理職比率  
(人) (%)



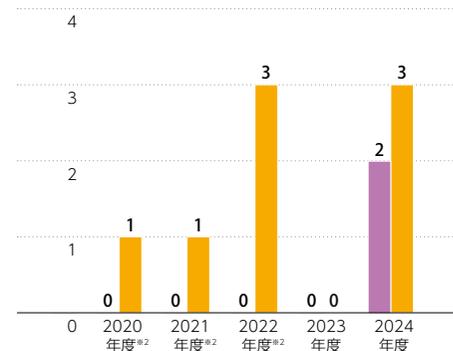
従業員数(左軸) ■男性 ■女性  
管理職数(右軸) ■男性 ■女性  
●女性管理職比率(折れ線)

労災件数・月の平均時間外労働  
(件) (時間)



■労災件数(左軸) ■月の平均時間外労働(右軸)

コンプライアンス違反数<sup>\*1</sup>・情報セキュリティ侵害数  
(件)



■コンプライアンス違反数 ■情報セキュリティ侵害数  
<sup>\*1</sup> コンプライアンス推進規程第14条による不祥事:レベル1とレベル2  
<sup>\*2</sup> 集計範囲は岩瀬コスファ単体。2021年度からグループへ拡大

GHG排出量 (Scope 1 + 2)  
(tCO<sub>2</sub>e)



■Scope 1 ■Scope 2 (ロケーション基準)

# 編集方針

新たな価値を創造し、より多くの喜びに貢献するため、岩瀬コスファが実践している取り組みについて報告します。本レポートを通じて、ステークホルダーの皆様へ継続的に説明責任を果たしていきます。

## 報告期間

2024年度(2024年1月1日から2024年12月31日)

※上記報告期間以外の活動・実績についても一部記載しています。

## 報告対象範囲

本CSRレポート中の「岩瀬コスファ」は、岩瀬コスファグループ10社および関連会社1社を示しています。範囲を特定する必要がある場合は、個別に対象組織名で記載しています。

岩瀬コスファ株式会社およびグループ会社

岩瀬コスファ株式会社

海外現地法人9社

科絲發国際貿易(上海)有限公司

科絲發国際貿易(広州)有限公司

IWASE COSFA EUROPE S.A.S

IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.

IWASE COSFA KOREA CO., LTD.

IWASE COSFA USA INC.

IWASE COSFA (Thailand) CO., LTD.

PT. IWASE COSFA INDONESIA

IWASE COSFA MOROCCO SARL

国内関連会社1社

大日本化成株式会社

## 参考ガイドライン

活動報告に関しては、GRIサステナビリティ・レポートिंग・スタンダード、ISO26000などを参考にしています。

## 発行日

発行日 2025年7月31日(次回発行予定 2026年7月)

前回発行日 2024年7月28日

## 問い合わせ先

岩瀬コスファ株式会社 CSR推進室

cosfa-csr@cosfa.co.jp



## 目次

1	企業理念・CSR方針
2	企業情報
4	ハイライト
5	編集方針
6	トップメッセージ
8	CSRマネジメント
8	サステナビリティへのアプローチ
8	ステークホルダーとの協働
11	岩瀬コスファのマテリアリティ
14	SDGs対照表
15	マテリアリティ報告
15	コーポレートガバナンスと倫理
20	労働および人権
26	環境
34	持続可能な調達
40	附属書・ESGデータ集

## トップメッセージ

# すべての従業員に挑戦の機会を。「利感誠挑謙」の精神で、従業員の豊かな人生やより良い社会に貢献していきます。

### 美と健康、そして豊かな未来を、すべてのステークホルダーと共に

岩瀬コスファ株式会社は、1931年に祖父・岩瀬健次郎が大阪で創業して以来、90年以上にわたり「美と健康」を通じて、より多くの人々の喜びと豊かな暮らしに貢献してまいりました。創業当初から私たちを支えるのは、伝統的な近江商人の経営哲学「三方よし」の精神。そして、祖父が生涯大切にした「受けた恩は10倍にして返す」という「恩送り」の心です。この精神は、二代目の父、そして私へと確かに受け継がれ、今日まで築き上げてきた多くの信頼関係こそが、岩瀬コスファを支え続ける揺るぎない礎となっています。

### 従業員一人ひとりの豊かな人生と挑戦を応援する

私自身の最大の使命は、会社をさらに発展させることはもちろん、何よりも、この会社集い、共に歩んでくれる**従業員一人ひとりが後悔のない豊かな人生を送り、毎日を充実させること**だと考えています。従業員が新たな挑戦を志すとき、可能な限りの機会と舞台を用意すること。これがトップである私の役割であり、創業者や二代目から受け継がれた「やってみなはれ」の精神を、私自身も日々心に刻んでいます。

具体的には、業務とは関係なく個人の興味や学びを深める「いちごプロジェクト」を継続しています。また、社長就任以来、グループ会社を含む全従業員300名以上との個別面談を重ね、深い対話を通じて従業員を理解し、会社全体の改善へとつなげています。学びの機会を広げるため、これまで管理職限定だった月例勉強会「早朝研究会」の参加制限を撤廃し、全ての社員が意欲に応じて参加できるようにしました。年に1回行っている「アイデアバスケット」では、社員の斬新な事業アイデアを募り、佐賀県唐津市の自社ファームで栽培している「白いきくらげ」を、飲食店に提供するなど具体的な成果も生まれています。

また、創業100周年を迎える2031年に向けた持続可能な成長基盤を築くため、全社的な業務の棚卸しと効率化に改めて取り組んでいます。これは千利休の教えにある「**守破離**」の考え方に基づき、「**基本を守り続けること、型を破り対応すること、独自に発展させること**」を精査するもので、徹底的な棚卸しを推進し、優先事項を明確化しました。さらに、企業理念を日々の行動に落とし込むための行動指針「**クレド**」の策定を進めており、次の100年にもつながる社員一人ひとりの行動の礎となることを期待しています。

岩瀬コスファ株式会社  
代表取締役社長

**岩瀬 由典**



## トップメッセージ

私が従業員に強く求めるのは、「できない」ではなく「**どうしたらできるか**」から考える「**イエス思考**」で行動する人です。そして、「**利他**」「**感謝**」「**誠実**」「**挑戦**」、そして「**謙虚**」という五つの心のあり方を実践し、「**運も味方につける人**」であってほしいと願っています。このような前向きで豊かな心を持った社員が集まることで、会社はさらに大きく成長していくと確信しています。

### 社会課題の解決と持続可能な社会への貢献

私たちが事業を展開する化粧品業界では、環境負荷の低減、人権尊重、そして持続可能な調達といった社会課題への関心が急速に高まっています。当社にとって、これらの課題解決に貢献することは、重要な責務であると強く認識しています。

その一環として、私たちは「**コスメバンク プロジェクト**」へのサポートを継続しています。これは、再販できない化粧品を経済的困難を抱えるご家庭に届ける取り組みであり、「**フードロス**」と同様に、化粧品業界における「**ロス**」削減という喫緊の課題に対し、私たちが積極的に取り組む姿勢を示すものです。その他、被災地支援やフィリピンの子どもたちへのスポーツ支援など、多岐にわたる社会貢献活動に努めています。事業を通じて得た利益を社会に還元していくことは、従業員が「**社会に貢献している**」「**自分たちの仕事が世の中の役に立っている**」という実感を持ち、誇りを感じることもつながると考えています。

当社のサステナビリティへの取り組みは国際的にも高く評価されており、**仏エコバディス社のサステナビリティ調査では、4年連続でゴールドメダルを獲得しました**。今後もサプライチェーン全

体での取り組みを強化し、パートナー企業の皆様を支援する体制を整えることで、化粧品業界全体の持続可能な発展に貢献してまいります。

また、当社は「**美と健康**」の領域を化粧品・健康食品に限定せず、異業種との連携にも積極的に挑戦しています。例えば、再生医療の技術が将来的に美容分野で活用されることを見据え、公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団への支援をコロナ禍以前から継続しています。さらに、デジタルやAIの進化が化粧品業界に大きな転換期をもたらすと捉え、お客様への迅速なニーズ対応と社会全体の効率化への貢献を目指し、この数年推進してきた社内システムのIT化をさらに進化させ、新会社「**デジタル革命株式会社**」を設立しました。

2025年に開催される大阪・関西万博では、「**いのちの未来**」館のパートナー企業として協賛し、石黒浩大阪大学栄誉教授がプロデューサーを務めるシグネチャーパビリオンにアンドロイドを貸与することで、「**いのち輝く未来社会のデザイン**」というテーマに貢献いたします。大阪で創業した企業として、地域発展の一助となれることを大変光栄に思います。

### 2024年度の実績と100周年に向けた挑戦

2024年度は、第9次中期経営計画の4年目にあたり、厳しい事業環境が続きましたが、岩瀬コスファグループ全体の売上高実績は499億円強、国内単体でも前期比109%増の372億円強を達成し、**プラス成長で終えることができました**。

この成果は、新型コロナウイルスの収束後のインバウンド需

要の増加に加え、高まる天然由来成分の処方開発、マルチコース化やパーソナライズ化への提案、環境に配慮した原材料や容器への対応など、**お客様の多様なニーズに迅速に応えられた結果だと思っています**。同時に、この数年取り組んできた社内デジタル化やIT化が効果を発揮し、市場動向の的確な把握、効率的な発注予測や資材管理、そしてコスト上昇への適切な対応とスムーズな価格改定を可能にしたことも、**大きな内的要因となっています**。引き続き、原材料価格の高止まりや円安の影響で供給が不安定な原材料もあるため、適正な利益確保に注力しながら、安定供給体制の維持に努めてまいります。また、今後のさらなる成長を見据え、経営の安定性と効率性の両面を高めていきます。

化粧品業界は、今後もデジタルやAIのさらなる進化により大きな転換期を迎えると見ており、「**ミニコスメ**」の台頭など新たな市場の動きにも柔軟に対応していきます。2025年度は国内単体で400億円(対前期比7.5%増)を目標に掲げ、薬粧事業、海外事業、ウェルネス事業のさらなる拡大と、ESG経営を通じた企業価値の向上に邁進してまいります。当社は2031年に創業100周年を迎えます。その時には、企業として気力も体力も十分に満ち溢れ、社員一人ひとりが夢を抱きながら次の100年に挑戦できる状態でありたいと強く願っています。これからも「**三方よし**」の精神を体現し、「**美と健康**」を創造する経営を推進することで、**すべてのステークホルダーの皆様と共に、化粧品業界全体の発展に貢献してまいります**。

# CSRマネジメント

## サステナビリティへのアプローチ

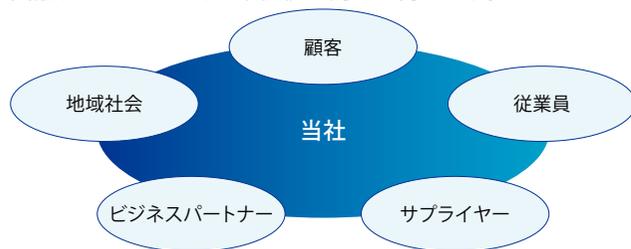
岩瀬コスファは「『美と健康』を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします。」を企業理念に、事業活動を通じて社会貢献を目指してきました。

中期経営計画では「美と健康の分野において、新たな価値を提供するクリエイターとして、世界の人々の豊かな暮らしに貢献し続ける企業でありたい」を中長期ビジョンとし、CSR方針に基づき積極的に地域社会への貢献や社会課題の解決につながる活動を実施していきます。

また、企業の社会的責任にサプライチェーン一体となって取り組み、品質の高いサービスを提供することで、「売り手よし、買い手よし、世間よし」を示す「三方よし」の精神を体現し、人々の美しさ、健やかさを創造する経営を推進します。

## ステークホルダーとの協働

岩瀬コスファはステークホルダー（顧客、従業員、サプライヤー、ビジネスパートナー、地域社会、その他の組織）および地球環境に及ぼす影響を考慮し事業活動を行っています。当社は、経済的・社会的価値を生み出し、持続可能な社会の発展に貢献することにより、企業価値の向上に努めます。



## ステークホルダーとのコミュニケーション

岩瀬コスファはステークホルダーの皆様との積極的なコミュニケーションを通じて、社会的責任への取り組みを推進し、新たな価値を提供していきます。

ステークホルダー	岩瀬コスファの責任	アプローチおよび 2024 年度実績
顧客	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全で高品質な製品の提供</li> <li>信頼関係の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各製品パンフレット</li> <li>安全データシート (SDS)</li> <li>ウェビナー (実績 41 回)</li> <li>ニュースレターの配信 (実績 12 件)</li> <li>営業活動を通じたコミュニケーション</li> <li>展示会への出展 (実績 1 件)</li> <li>リアルセミナー (実績 5 件)</li> <li>取引先 SAQ/ アンケートへの回答 (実績 32 件)</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>働きやすい・働きがいのある職場環境の提供</li> <li>個々の能力を最大限に発揮できる従業員教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部通報制度</li> <li>社内報配信 (実績 140 件)</li> <li>東西会議 (実績 1 回)</li> <li>従業員代表懇談会 (実績 2 回)</li> <li>労使協定</li> <li>安全衛生委員会 (実績 12 回)</li> <li>各種面談・研修制度</li> <li>社内行事</li> </ul>
サプライヤー、 ビジネスパートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>公平・公正な取引の徹底</li> <li>信頼関係の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>購買活動を通じたコミュニケーション</li> <li>コスファ会 (仕入先報告会) (実績 1 回)</li> </ul>
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域発展への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体への積極的なかわり</li> <li>業界団体への積極的な参加 (実績 9 団体)</li> </ul>

# CSRマネジメント

## 外部イニシアティブへの賛同・参画

### ◆国連「持続可能な開発目標 (SDGs)」

岩瀬コスファは、グループ全体で持続可能な開発目標(SDGs)を支持しており、重点的に取り組むテーマとSDGsを対応させています。常にSDGsへの貢献を意識して事業を推進し、グループ全体への浸透を図ります。



※ SDGs: <https://sdgs.un.org/goals>

### ◆国連グローバル・コンパクト

2019年11月に国連グローバル・コンパクトへ加盟しました。本CSRレポートを通じてコミットメントを表明します。



※ 国連グローバル・コンパクトおよびグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン: <https://www.ungcnj.org/gcnj/about.html>

### ◆一般社団法人 日本経済団体連合会「企業行動憲章」および経団連生物多様性宣言イニシアチブ

岩瀬コスファは、経団連の企業行動憲章および、経団連生物多様性宣言イニシアチブに賛同しています。今後も社会的、環境的な責任を果たしていきます。



※ 経団連「企業行動憲章」:  
<http://www.keidanren.or.jp/policy/cgcb/charter2022.html>  
経団連「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」:  
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/082.html>

### ◆Sedex (Supplier Ethical Data Exchange)およびSMETA監査 (Sedex Members Ethical Trade Audit)

自社を適正に評価するため、2023年11月14日にSMETAの4領域監査を実施し、Sedex上で監査結果を報告しています。

※ Sedex: <https://www.sedex.com/>  
※ SMETA監査:  
<https://www.sedex.com/solutions/smeta-audit/>



### ◆EcoVadis

2017年よりEcoVadisに参画し、2024年度サステナビリティ調査において、4年連続でゴールドメダルを取得しました。

※ EcoVadis: <https://ecovadis.com/>



### ◆CDP

2024年度、CDPの気候変動・ウォーターセキュリティにおいてC評価を獲得しました。今後も継続的に改善を行います。

※ CDP: <https://www.cdp.net/en>



### ◆子育て憲章

岩瀬コスファヨーロッパでは、2008年に発足された「corporate parenthood observatory」に基づき、従業員とともに「岩瀬コスファヨーロッパの子育て方針」を定めています。子育て中の従業員が不利益な取り扱いを受けずに、ワークライフバランスを保ちながら働くことができる労働環境づくりに取り組み、男女平等な子育てへの参加を支援することを約束します。

※岩瀬コスファの子育て憲章への署名:  
[https://www.observatoire-qvt.com/charte-de-la-parentalite/les-signataires/?search=COSFA&select\\_region=0&select\\_secteur=0&select\\_taille=0#no](https://www.observatoire-qvt.com/charte-de-la-parentalite/les-signataires/?search=COSFA&select_region=0&select_secteur=0&select_taille=0#no)

## 外部認証の取得

### ◆健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門) 認定

岩瀬コスファでは、従業員の健康づくりを促進するため、継続的な働き方の改善、健診時のオプション検査の費用負担、がん予防サポート「N-NOSE」の導入など、従業員が健康で安心して働くことができる環境づくりに取り組んでいます。

2022年10月には「健康宣言」を行い、健康経営に取り組むことを社内外に発信しました。2023年度の認定に続き2年連続で、2024年度も健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門) に認定されました。



当社の健康宣言



## CSRマネジメント

### ◆子育てサポート企業認定「くるみん認定」

厚生労働省の定める「次世代育成支援対策推進法」第13条に基づき、一般事業主行動計画を策定しています。この基準を満たし「子育てサポート企業」として認定された証として、2021年5月に「くるみんマーク」が与えられました。今後も従業員が仕事と家庭を両立できるようにワーク・ライフバランスを重視し、心身ともに働きやすい職場環境を整えていきます。



### ◆えるぼし認定

女性活躍推進に対する取り組みが優良と認められ、2022年10月7日付で、厚生労働省が定める女性活躍推進企業認定「えるぼし認定」の最高位である「3段階目」を取得しました。女性が活躍できる雇用環境を整備することで、全ての女性従業員が女性特有のライフイベントと仕事を両立し、長期にわたりキャリアを継続できるよう支援しています。従業員一人ひとりが輝く企業を目指して、女性だけでなくすべての従業員が安心安全で互いを尊重し合える職場を追求し、より働きやすい労働環境の整備に努めます。



### 社会貢献活動

#### ◆大阪・関西万博への協賛

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のテーマ事業「シグネチャーパビリオン」の中で、石黒浩テーマ事業プロデューサーが担当する「いのちの未来」館に、パートナーとして協賛しています。世界中の人々の豊かな暮らしと、より多くの喜びに貢献することを目指し、協賛企業の皆様とともに50年後のいのちの未来を共創します。

※ 大阪・関西万博: <https://www.expo2025.or.jp/>

#### ◆農福連携JAS(ノウフクJAS)について

当社は、障がい者の方々が農業分野で活躍することを目指す「農福連携」を推進し、きのか栽培事業においてノウフクJAS認証を取得しました。これは、JAS規格に基づいた生産工程で、障がい者の方々が能力を發揮し、質の高いきくらげを生産していることを示すものです。この取り組みを通じて、地域社会への貢献と、持続可能な農業の発展に寄与していきます。



#### ◆コスメバンクプロジェクトへの協賛

一般社団法人バンクフォースマイルズが運営するコスメバンクプロジェクトに参画しています。

リニューアルに伴い旧仕様品となった製品や、未開封の店頭返品など、品質には何ら問題がないものの再販売の難しくなっ

た良品を企業から募り、経済的困難やさまざまな事情で、化粧品を必要としているのに入手できない方へ無償配布しています。行き先が決まらずに廃棄されるはずだった化粧品を必要な方にお届けすることで、女性と企業、そして地球環境という、社会全体にとっての課題の解決を目指しています。

※ コスメバンクプロジェクト: <https://cosmebank.jp/>



#### ◆災害支援・寄付活動

2024年元日に発生した「令和6年能登半島地震」について、石川県を通じて義援金を送りました。

#### ◆次世代育成

未来を担う人材の育成を重要な使命ととらえ、大学での講義や、地域の高校生に向けたセミナーの実施など、次世代に向けた教育支援にも力を注いでいます。

- ・武庫川女子大学「化粧品科学」への非常勤講師派遣
- ・京都産業大学「キャリアのためのビジネスソリューション」での健康経営に関する講義の実施
- ・佐賀県が実施する「コスメ業界潜入セミナー」への登壇

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社の主催する「THE ROYAL JUNIOR」に協賛し、世界へ羽ばたく日本の高校生の挑戦を応援しています。

※ The Royal Junior: <https://the-royal-golf-club.com/the-royal-junior/>

## CSRマネジメント

### 岩瀬コスファのマテリアリティ

岩瀬コスファでは、企業理念や中期経営計画を起点に、社会環境やサプライチェーンの課題解決など、新たな価値を創造するために重点的に取り組むべきマテリアリティを選定しています。

#### マテリアリティの特定プロセス

##### 1. 社会課題の確認

重点課題を特定するに当たって、検討すべき社会課題の抽出を行いました。グループのCSR方針だけでなく、GRIスタンダード、ISO26000、CSR評価機関の調査項目も加味した上で、検討すべき30項目の社会課題を抽出しました。

##### 2. 自社の重要な取り組みについてヒアリング

重要な取り組みについて役員およびステークホルダー（顧客、サプライヤー、従業員、地域コミュニティ、NPO/NGOなど）へのヒアリングやフリーディスカッションを実施しました。

##### 3. マテリアリティ案の作成

各ステークホルダーからの期待をもとに、抽出した30項目の社会課題の各項目について、ステークホルダーにとっての重要度と当社事業にとっての重要度の2軸で5段階評価を行いました。そして、それぞれの重要度評価を基に、全体の重要性についても加味した上で、グループ全体での重点課題（トータルスコア7以上）を14個作成しました。

##### 4. マテリアリティの承認

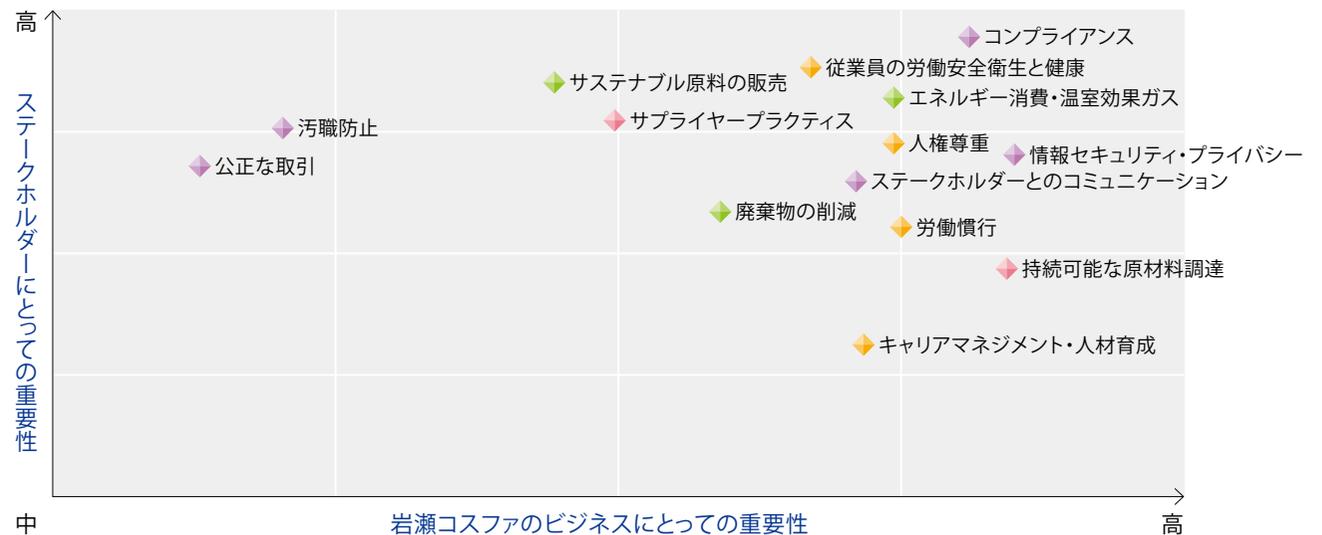
マテリアリティリストを取締役に報告し、承認を得ました。

#### 特定したマテリアリティ

カテゴリー	サステナビリティ重要課題
コーポレートガバナンスと倫理	ステークホルダーとのコミュニケーション／情報セキュリティ・プライバシー／コンプライアンス／汚職防止／公正な取引
労働および人権	人権尊重／労働慣行／従業員の労働安全衛生と健康／キャリアマネジメント・人材育成
環境	エネルギー消費・温室効果ガスの削減／サステナブル原料の販売／廃棄物の削減
持続可能な調達	サプライヤープラクティス／持続可能な原材料調達

#### 岩瀬コスファグループのマテリアリティマップ

◆ コーポレートガバナンスと倫理 ◆ 労働および人権 ◆ 環境 ◆ 持続可能な調達



CSRマネジメント

岩瀬コスファ中長期目標

2024年は、引き続きサプライヤーとのコミュニケーションを重視し、意見交換会の実施やサプライヤー倫理要綱の浸透、サステナビリティアンケート調査を行いました。サプライチェーン全体での取り組み強化に向けて、継続的に活動していきます。

2025年は、次期中期経営計画の策定に向けて、事業活動や経営戦略とサステナビリティ活動を統合し、より実践的で長期的な視点に立った計画策定に取り組んでいきます。

中長期目標、KPI、運用管理表

カテゴリー	コミットメント	サステナビリティ重要課題	中長期目標 (2021-2025)	KPI	2024年度 実施項目および結果	2025年度 単年度目標	責任部門
コーポレートガバナンスと倫理	CSR方針 危機管理方針	ステークホルダーとのコミュニケーション	●ステークホルダーから高い信頼を得る	—	●CSRレポートや株主総会、東西会議、コスファ会等での報告を通じ、ステークホルダーへの情報発信と相互理解の促進に努めた	●CSRレポート作成、株主総会、東西会議、仕入先報告会等を通じてステークホルダーに説明をしていく	CSR推進室
		情報セキュリティ・プライバシー	●情報漏洩事故(事故レベル3)ゼロを目指す	●情報セキュリティ侵害数	●情報セキュリティ研修の実施 ●個人情報の適切な管理、保護	●CSRの外部プラットフォーム(EcoVadis, Sedex) 対応 ●情報セキュリティ研修の実施 ●個人情報の適切な管理、保護	DX推進部 総務部
	コンプライアンス 規範	コンプライアンス	●コンプライアンス違反(レベル1)ゼロを目指す	●コンプライアンス違反数	●従業員へのコンプライアンス教育1回/年	●従業員へのコンプライアンス教育1回/年	コンプライアンス推進室
		汚職防止	●法令遵守、倫理的な行動による企業活動の健全性の向上		●贈収賄防止の教育の実施1回/年	●贈収賄防止の教育の実施1回/年	コンプライアンス推進室
		公正な取引			●贈答品に関する報告の実施1回/年	●贈答品に関する報告の実施1回/年	コンプライアンス推進室
	労働および人権	人事の基本的な考え方	人権尊重	●多様な人材による新たな価値の創造、イノベーションの推進	●人権教育の実施状況 ●障がい者雇用率 ●管理職女性比率向上	●労働者の基本的人権についての教育 ●女性活躍推進法(えるぼし取得済み)、障がい者雇用促進	●労働者の基本的人権についての教育 ●女性活躍推進の浸透、障がい者雇用促進
労働慣行			●従業員エンゲージメントの向上および定着率の向上	●時間外労働 ●欠勤率	●働き方改革への取り組み ●女性管理職の増員	●働き方改革への取り組み ●女性管理職の増員	CSR推進室・総務部 経営層

CSRマネジメント

カテゴリー	コミットメント	サステナビリティ重要課題	中長期目標 (2021-2025※1)	KPI	2024年度 実施項目および結果	2025年度 単年度目標	責任部門
労働および 人権	人事の基本的な 考え方	従業員の 労働安全衛生と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害件数ゼロを目指す</li> <li>従業員のメンタルダメージの低減を目指す</li> </ul>	労働災害件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理プロジェクトのPDCA運用、災害時連絡方法の訓練、従業員・役員懇談会</li> <li>年に1回の従業員へのストレスチェックの実施、および高リスク者への産業医面談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理プロジェクトのPDCA運用、災害時連絡方法の訓練、従業員・役員懇談会</li> <li>年に1回の従業員へのストレスチェックの実施、および高リスク者への産業医面談の実施</li> </ul>	危機管理委員会・CSR推進室
		キャリアマネジメント・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>新中計戦略に合わせた組織計画、人材の採用</li> <li>階層別、業務別の育成計画の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女採用比率</li> <li>賃金モニタリング</li> <li>研修時間数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>階層別・業務別の育成計画の構築</li> <li>研修時間一人当たり年間平均6時間の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>階層別・業務別の育成計画の構築</li> <li>研修時間一人当たり年間平均時間目標の見直し</li> </ul>	総務部
環境	環境方針	エネルギー消費・ 温室効果ガスの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までにCO<sub>2</sub>排出量の70%減少。(Scope1、2)※2</li> <li>調達する電力のうち、50%を再生可能エネルギーで調達する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力消費量</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量</li> <li>GHG排出量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDPの回答継続、Scope 3 算出根拠の精査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDPの回答継続、Scope 3 算出根拠の精査</li> </ul>	ISO推進室・CSR推進室
		サステナブル原料の 販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ商品の販売について、年度目標を定め、全体売上の30%以上を達成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ商品販売実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上重点品目の30%以上をエコ商品販売量とした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上重点品目の30%以上をエコ商品販売量とする</li> </ul>	営業部門
		廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年に向けて、廃棄物排出量を売上数量の1%以下に保つ※1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不良在庫の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不良在庫の削減</li> </ul>	管理部
持続可能な 調達	持続可能な 調達方針	サプライヤー プラクティス	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年までに主要なサプライヤーの70%から倫理要綱の署名を得る</li> <li>2025年までに主要なサプライヤーのCSRの意識アンケートを行い、サプライヤーのCSR意識向上に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤー倫理要綱署名率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのサプライヤーに対して、サプライヤー倫理要綱への同意依頼、およびアンケート調査を実施した。リスクが発見された取引先には、改善に向けた働きかけを行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのサプライヤーに対して、サプライヤー倫理要綱への同意依頼、およびアンケート調査を実施し、リスクが発見された取引先には、改善に向けた働きかけを行っていく</li> </ul>	営業部門・CSR推進室
		持続可能な 原材料調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までにパーム油・パーム核油由来原料の100%をRSPO認証原料にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>RSPO認証原料調達率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>RSPO対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>RSPO対応</li> </ul>	営業部門・CSR推進室

※1 環境課題については2030年まで ※2 ベースイヤー2019年

CSRマネジメント

SDGs対照表

カテゴリー	サステナビリティ重要課題	2024年度 実施項目および結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
コーポレートガバナンスと倫理	ステークホルダーとのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSRレポートや株主総会、東西会議、コスファ会等での報告を通じ、ステークホルダーへの情報発信と相互理解の促進に努めた</li> <li>● CSRの外部プラットフォーム (EcoVadis, Sedex) 対応</li> </ul>								●									●	●	
	情報セキュリティ・プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報セキュリティ研修の実施</li> <li>● 個人情報の適切な管理、保護</li> </ul>			●						●										
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員へのコンプライアンス教育1回/年</li> </ul>									●									●	
	汚職防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 贈収賄防止の教育の実施1回/年</li> </ul>											●								
	公正な取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 贈答品に関する報告の実施1回/年</li> </ul>												●							
	人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働者の基本的人権についての教育</li> <li>● 女性活躍推進の浸透、障がい者雇用促進</li> </ul>			●															●	
労働および人権	労働慣行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 働き方改革への取り組み</li> <li>● 女性管理職の増員</li> </ul>			●	●															
	従業員の労働安全衛生と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 危機管理プロジェクトのPDCA運用、災害時連絡方法の訓練、従業員・役員懇談会</li> <li>● 年に1回の従業員へのストレスチェックの実施、および高リスク者への産業医面談の実施</li> </ul>			●																
	キャリアマネジメント・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 階層別・業務別の育成計画の構築</li> <li>● 研修時間一人当たり年間平均6時間の確保</li> </ul>			●	●															
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー消費・温室効果ガスの削減</li> <li>● サステナブル原料の販売</li> <li>● 廃棄物の削減</li> </ul>								●					●	●	●	●			
持続可能な調達	サプライヤープラクティス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべてのサプライヤーに対して、サプライヤー倫理要綱への同意依頼、およびアンケート調査を実施し、リスクが発見された取引先には、改善に向けた働きかけを行った</li> </ul>											●							●	
	持続可能な原材料調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>● RSPO対応</li> </ul>											●	●	●	●	●			●	

## コーポレートガバナンスと倫理

岩瀬コスファは、公正で透明性を確保したコーポレートガバナンス体制の構築を重要課題であるととらえています。また、グローバル企業として法令遵守にとどまらず、一人ひとりが高い倫理観を持ち、ステークホルダーの期待に応えます。



### 基本的な考え方

岩瀬コスファはすべてのステークホルダーとのコミュニケーションおよび企業の透明性の維持を、当社にとっての重要課題と位置づけています。適切な経営判断を迅速に行う経営体制と、経営と執行に対する監督・監査体制機能を両立し、公平公正でリスクに備えたガバナンス体制を構築し運用しています。

また、CSR方針にて、各ステークホルダーへの当社の責任を明確にし、コンプライアンス規範にて当社のすべての役員および従業員が遵守すべき基本的事項を定めています。従業員が高い企業倫理と社会倫理を保ち、責任ある行動を取れるよう教育の機会を提供し、コンプライアンスや人権尊重を最優先として業務を遂行します。当社において発生する危機に際し、従業員の安全確保、事業活動の継続、および社会的責任を果たすことを目的とした基本的事項を危機管理方針に定めています。セキュリティ教育や、コンプライアンス研修を通してリスクの低減に努めるとともに、従業員や当社の利益を維持・保護するため中長期的な視点に立ってリスクと機会を分析し、適切なリスク管理に努めます。持続的な成長と企業価値の向上に努め、すべてのステークホルダーから高い信頼を獲得できるよう事業に取り組んでいきます。

### CSR方針

岩瀬コスファは事業を通じて、社会の課題と期待に応える活動を展開し、人々の美と健康に貢献する経営を推進します。

※ CSR方針：  
<https://www.cosfa.co.jp/sustainability/governance/corporate-governance/>

### 危機管理方針

岩瀬コスファは、社会的責任を果たし、従業員と会社の利益を保護するため危機管理方針を定め、リスクに対し効果的に対応することを宣言しています。

1. 危機の未然防止、発生した危機への対応、コミュニケーションを含む危機管理体制を構築する。
2. 危機の発生に際して、社会的責任に反するような危機への対応を行ってはならない。
3. 危機の発生に際して、従業員の生命および身体の安全確保を最優先とし、迅速に実効性のある対応を行う。
4. 危機の発生に際して、事業継続または速やかな再開に努める。
5. 従業員の危機管理意識を向上させるため、教育・訓練を実施する。
6. 危機管理の活動実績は毎年評価し、継続的にその有効性を改善する。

※ 危機管理方針：  
<https://www.cosfa.co.jp/sustainability/governance/risk-management/>

### コンプライアンス規範

岩瀬コスファは、業務を遂行するに当たり遵守すべき重要な事項をコンプライアンス規範に定め、全従業員へハンドブックを配布しています。

※ コンプライアンス規範：  
<https://www.cosfa.co.jp/wp-corporate/wp-content/themes/cosfa-corporate/assets/pdf/compliance-charter-ja.pdf>

## コーポレートガバナンスと倫理

### 情報セキュリティ基本方針

岩瀬コスファは、「『美と健康』を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします。」を経営理念に掲げ、お客様のニーズに応えてきました。今後も、お客様により良い製品・サービスを提供するために、高度情報化社会における情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるために、情報セキュリティ基本方針を定め、当社の情報セキュリティに対する取り組みの指針といたします。

#### 1. 社内体制および情報セキュリティポリシーの整備

当社は、セキュリティの維持および改善のために必要な管理体制を整備し、必要な情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

#### 2. リーダーシップにおける責任および継続的改善

当社の経営者は、本方針の遵守により、当社およびお客様の情報資産が適切に管理されるよう主導します。

#### 3. 法令、契約上の要求事項の遵守

当社の従業員は、事業活動で利用する情報資産に関連する法令、規制、規範およびお客様との契約上のセキュリティ要求事項を遵守します。

#### 4. 従業員の取り組み

当社の従業員は、情報セキュリティの維持および改善のために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。

#### 5. 違反および事故への対応

当社は、情報セキュリティにかかわる法令、規制、規範およびお客様との契約にかかわる違反および情報セキュリティ事故への対応のための体制を整備し、違反および事故の影響を低減します。

※ 情報セキュリティ基本方針:

<https://www.cosfa.co.jp/sustainability/governance/information-security/>

#### ◆情報セキュリティ教育

岩瀬コスファは、毎年すべての役員、従業員を対象に、外部の教育システムを用いて情報セキュリティ研修を行い、テストにて理解度を確認しています。2024年度も211名を対象に教育を行いました。

### 目標・KPI・実績

岩瀬コスファでは強固なガバナンス体制を構築し高い倫理観を保持するため、以下のKPIを設定し取り組みを推進しています。

#### ◆コンプライアンス・汚職防止・公正な取引

社会的信用を得るため全従業員がコンプライアンス規範を遵守し、違反数をゼロに保つための教育や周知を行い、継続して目標を達成しています。

KPI	2030年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
コンプライアンス違反数(件)	0	0	2

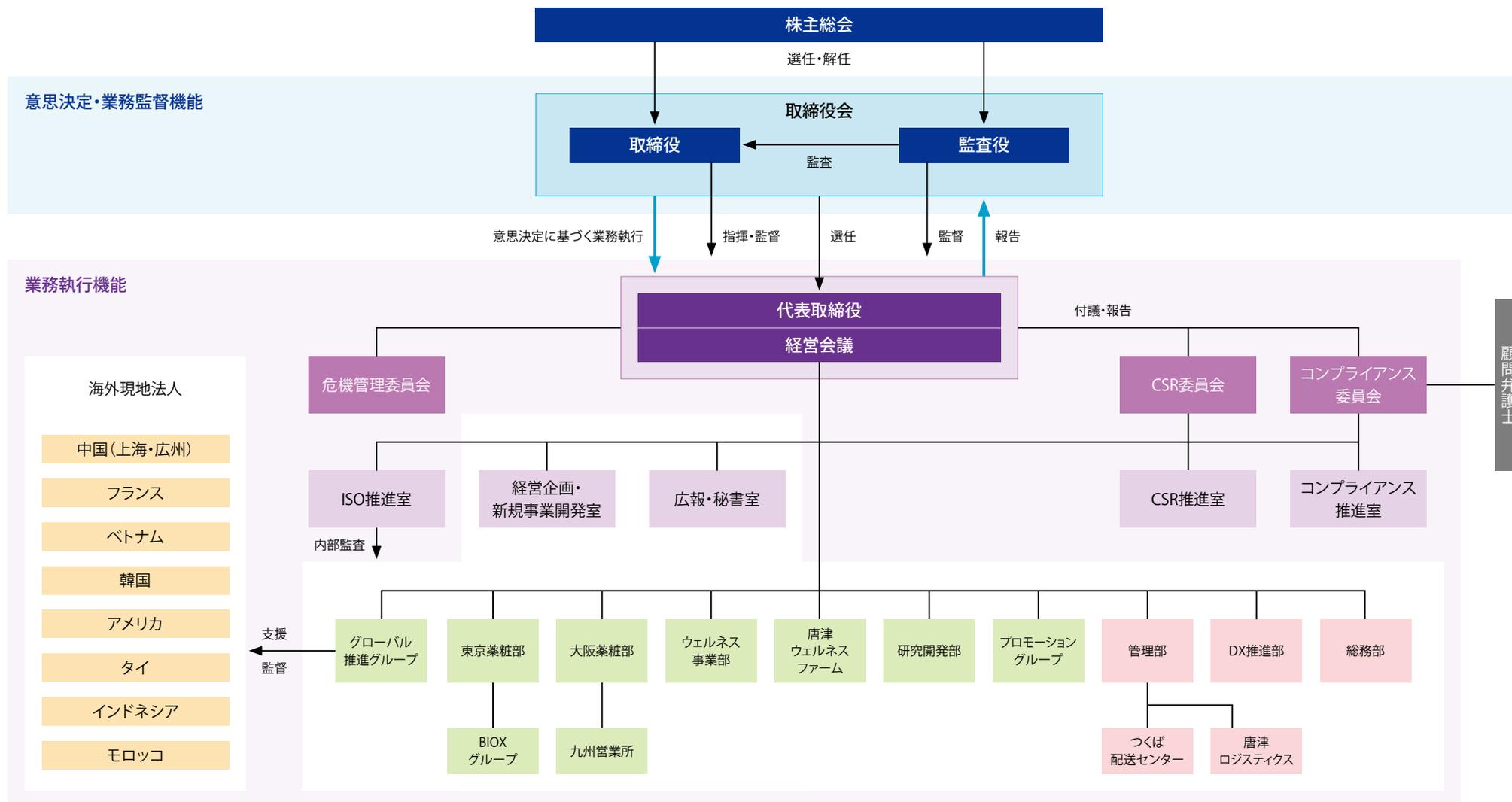
#### ◆情報セキュリティ・プライバシー

不正行為を防止し、重大な情報漏洩を防ぐため、セキュリティインシデントの発生件数ゼロを目指しています。

KPI	2030年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
情報セキュリティ侵害数(件)	0	0	3

# コーポレートガバナンスと倫理

### コーポレートガバナンス体制図



## コーポレートガバナンスと倫理

### コーポレートガバナンス体制

岩瀬コスファでは、業務の健全性および適正の確保と、企業価値の維持向上のため、以下の項目において委員会の設置や、規程の制定を行い、内部統制体制について定めています。

- ・コンプライアンス規範の制定、コンプライアンス委員会の設置
- ・情報セキュリティ基本方針の制定、情報セキュリティインシデント対応規程の制定
- ・危機管理方針の制定、リスク分析の実施、危機管理委員会の設置

また、原則として毎月1回の取締役会および、管掌役員・部門長で構成される経営会議を開催し、経営に関する重要事項について、関係法令や定款に基づいた判断を行い、迅速に決定する体制整備や会議運営を行います。

#### ◆取締役会

取締役会は、すべての取締役が出席し、原則として毎月1回、その他必要に応じて臨時取締役会を開催し、経営の意思決定を行います。なお、監査役は経営に対する監視・監査機能を果たしており、取締役会の前には、執行機能の向上を目的として経営会議を開催することで、各会議の機能強化と業務の適性の確保に努めています。

#### ◆コンプライアンス委員会

取締役会にて選任した委員で組織し、年2回開催しています。施策の策定・推進や、従業員教育、規程の改廃、不祥事発生時の緊急対応などを行い、その内容は取締役役に報告しています。

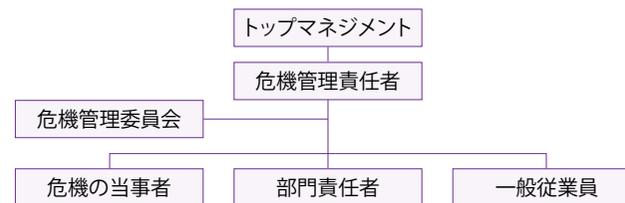
#### ◆CSR委員会

代表取締役を委員長とし、取締役を含むメンバーで部門横断的に組織され、年1回開催しています。当社のCSR活動の進捗管理および、優先課題の決定やCSR活動の周知などを推進します。

#### ◆危機管理委員会

危機の特定や、重大な危機への取り組みを策定、実行しています。緊急事態発生時には、情報収集、対応策の検討や施策の実施を行います。

### 危機管理体制



#### ◆リスクマネジメント体制

危機管理方針に基づいて、緊急時の顧客、取引先、従業員の安全および当社の事業継続に影響を及ぼす可能性のあるリスク要因を定めました。想定されるリスクを基に単年度目標や実

行施策を定め、四半期ごとに進捗確認を行います。

#### 【主要なリスク】

- ・重要な取引先の倒産
- ・コンプライアンス違反
- ・役員および従業員による重大な犯罪
- ・情報漏洩、システム障害
- ・事故による役員および従業員の負傷・死亡
- ・環境汚染
- ・地震、風水害などの自然災害による損失
- ・火災の発生
- ・経営不安などの風評
- ・役員および従業員の被災、誘拐など
- ・事故、盗難による被害
- ・第三者による破壊行為、事業の妨害

※ 危機管理方針：  
<https://www.cosfa.co.jp/sustainability/governance/risk-management/>

#### ◆内部監査／外部審査

岩瀬コスファでは年に1回の内部監査、およびマネジメントレビューを行い、第三者機関（JQA）による外部審査を受けています。ISO推進室を設置し、資格を有する内部監査員が、他部門の監査を行います。業務内容や内部統制の妥当性、汚職や贈収賄を含むリスクの排除などを目的として、社内の業務が正しく行われているかを監査し、内部監査報告書にて報告します。結果はマネジメントレビューにて経営層に伝えられます。

## コーポレートガバナンスと倫理

### コンプライアンス・汚職防止・公正な取引

岩瀬コスファは、業務を遂行するに当たり、社会から信頼される企業であるため、コンプライアンス規範を定めています。また全従業員にコンプライアンスハンドブックを配布し、その遵守を求めています。不正行為を防止するため、すべての役員・従業員に向けた勉強会を行い、定期的な意識調査を実施しています。

#### ◆贈収賄防止に関する研修および汚職と贈収賄の意識調査

岩瀬コスファでは、すべての従業員に対して汚職と贈収賄についての勉強会を行い、理解度および意識に関する定期的な調査を実施しています。また、贈答に関する承認手続きを定め、不適切な贈答が行われないようすべての情報を一元管理しモニタリングしています。

#### ◆公益通報窓口・内部通報制度

岩瀬コスファでは、公益通報者保護法にのっとり、公益通報窓口および内部通報制度運用規程を設けています。

内部通報制度運用規程では、従業員からの法令違反行為などに関する相談を受け付けています。通報の仕組みを定めることにより、不正行為などの早期発見と是正を図り、コンプライアンスの強化に資することを目的としています。従業員は、電話、電子メール、FAX、書面、面会などによって相談が可能で、通報または相談したことを理由にいかなる不利益な取り扱いも受けられないことが定められています。

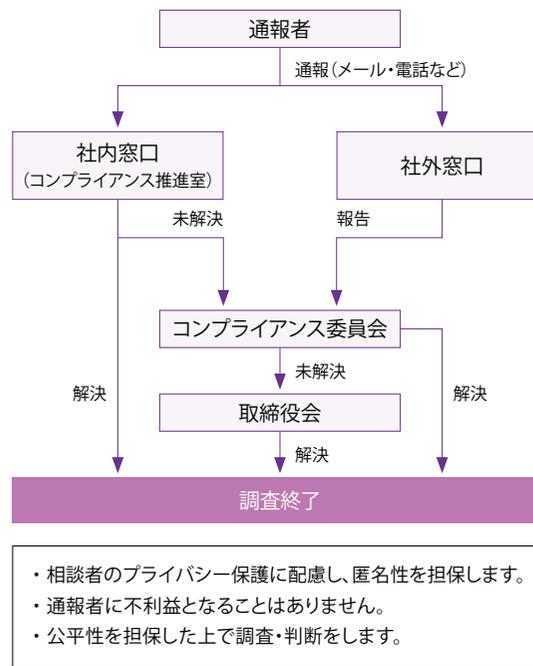
また、受理した通報については、匿名性を担保し、秘密を保持

し、必要な調査を行った上で、通報対象事実があると認められる場合には、従業員就業規則に従って必要な措置を講じます。

公益通報窓口は、ホームページにて公開し、外部のステークホルダーも利用可能となっており、匿名で不正行為やそのおそれのある行為、苦情、情報提供など、広く相談が可能となっています。

※ 当社公益通報窓口：  
<https://www.cosfa.co.jp/info/whistle-blowing.html>

### 通報・相談プロセス



- ・相談者のプライバシー保護に配慮し、匿名性を担保します。
- ・通報者に不利益となることはありません。
- ・公平性を担保した上で調査・判断をします。

### 通報・相談内容とその割合

通報・相談内容	2024年度割合 (%)
各種ハラスメント行為(カスタマーハラスメント含む)	80
その他通報・相談 ・法令違反行為(インサイダー取引、独占禁止法、入札談合等関与行為など) ・贈答品・接待の不正なアプローチ ・個人情報の漏洩 ・知的財産権の侵害	20



DX推進部 情報システム 主事  
吉村 光行

お客様により良い製品・サービスを提供するとともに、当社が管理する情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるために、情報セキュリティポリシーを定めております。このポリシーに従い、情報セキュリティインシデントの対応や各部門のセキュリティ状況の把握、従業員の教育を定期的に行うことで情報セキュリティの強化に取り組んでいます。また、この取り組みは経営会議に報告しさらなる強化につなげていきます。

## 労働および人権

岩瀬コスファは、一人ひとりが個々の能力を発揮することで、会社としても社会に貢献できると考えています。そのために、すべての人々の人権を尊重し、すべての従業員に安心・安全な労働環境を提供することは当社の大切な使命です。

### 基本的な考え方

「人事の基本的な考え方」をもとに、一人ひとりが個々の能力を発揮できるよう成長機会を提供し、誰もが輝く企業を目指します。

岩瀬コスファは「美と健康」を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献する、を企業理念に、組織全体で「ONE TEAM」を目指し、人々の健康で豊かな暮らしづくりに貢献するよう努めます。そのためには、個人の成長が不可欠と考え、以下の考え方を基に、従業員一人ひとりが輝く企業を目指します。

- ・「Myじんけん宣言」のもと、人種、信条、性別、性的指向、社会的身分、宗教、国籍、年齢、心身の障がいなどによる差別をしない「差別の無い採用活動、人事制度」
- ・個人の能力、特性にしっかりと目を向け、個人と組織の力を最大化する「人員の最適配置」
- ・従業員個々に求められる成果・行動を明確にし、個人の成果にしっかりと報いる「実力に応じた処遇」

私たちは、お互いの個性を大切に想い、心を配りあい、個の力を結集し、変わりゆく時代の中でも、恐れることなく新たなチャレンジをし続ける企業風土を目指します。

※ 人事の基本的な考え方：

<https://www.cosfa.co.jp/wp-corporate/wp-content/themes/cosfa-corporate/assets/pdf/recruit-policy.pdf>

### ◆海外拠点の採用について

私たち岩瀬コスファは、お取引先様、地域社会とともに持続的に成長を続けるため、海外拠点での現地採用を実施しております。(現在10拠点)国内従業員211名に対して、海外拠点では現地採用者を中心に147名(2024年12月末)と多くの従業員が働いております。海外拠点の従業員については今後も、現地での採用を積極的に進めていきます。

### ◆「従業員満足度調査」の実施、および人事制度改定への活用について

年1回、従業員満足度調査を行い、それぞれの課題解決につなげております。また、従業員から要望が多かった事項を人事制度改定に活用し、シンプルかつ明確で、より個人の頑張りに応えられる制度を実現いたしました。2024年度は2月に調査を実施し、結果は全従業員にフィードバックしています。

### ◆働き甲斐のある快適な職場環境の実現に向けて

働き方改革への取り組みとして、年1回従業員代表と社長を含む役員との懇談会を行っています。オブザーバーとしてCSR推進室も同席し、職場環境をよくするための課題や解決策について話し合っています。取り上げられた課題は、対処できることから改善し、労働環境に反映しています。



## 労働および人権

### 目標・KPI・実績

岩瀬コスファは、一人ひとりが輝ける企業であるために、安心して働ける労働環境の整備や、人権尊重が重要であると認識しています。各指標のモニタリングを継続することで、それぞれの維持・改善活動につなげていきます。

#### ◆人権尊重

岩瀬コスファは公平な採用、ジェンダーフリーな登用を推進しており、女性管理職比率は向上傾向です。また、人権教育にも注力し、従業員が互いを尊重しあえる職場環境を追求しています。

KPI	2025年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
全社向け人権教育実施回数(回)	1	1	1
障がい者雇用率(%)	2.3	1.80	1.63
女性管理職比率(%)	45	32	32

#### ◆労働時間管理

岩瀬コスファはワークライフバランスに配慮し、従業員の要望を尊重した職場環境を構築しています。その結果、5年連続で目標値を達成しています。

KPI	2030年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
平均時間外労働(時間/月)	10時間 未滿	10	3.92
欠勤率(%)	1%未滿	0.50	0.05

#### ◆従業員の労働安全衛生と健康

岩瀬コスファは従業員の健康維持のため、安全で快適な職場環境の提供を目指しています。労働災害が発生した場合には、原因を特定し、同様の事象が起きるリスクを踏まえ是正処置を行っています。

KPI	2030年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
労働災害件数(件)	0	0	2

#### ◆キャリアマネジメント・人材育成

岩瀬コスファは性別に関係なく従業員の適性やキャリアプランを踏まえた成長機会を提供しています。男女採用比率・男女間の賃金比率には格差がないことを確認しているほか、計画に従い研修を実施しています。

KPI	2025年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
男女採用比率(男性:女性)	1:1	1:1	1:1.23
男女平均賃金比率	1.00	0.95	0.93
1人当たり平均研修時間数(時間/年・人)	6	6	34.93

### 人権尊重

岩瀬コスファは、当社の発展に貢献することを目的として、さまざまな人材の積極採用を進めています。多様なバックボーンを持った従業員が互いに尊重しあうことで生まれる、イノベー

ションや新たな価値の創造を大切にしています。

その環境を醸成するため、人権教育や障がい者雇用、女性管理職登用にも注力し、サプライチェーン全体を含む、すべての人々の人権を尊重し、より働きやすい労働環境の整備に努めます。

#### ◆経団連「Myじんけん宣言」への賛同

岩瀬コスファは、2021年に一般社団法人 日本経済団体連合会の「Myじんけん宣言」に賛同し、宣言しました。



岩瀬コスファの「Myじんけん宣言」

※ Myじんけん宣言:  
[https://www.jinken-library.jp/my-jinken/company\\_detail.php?p=MDAwMDAwMDA2NA==](https://www.jinken-library.jp/my-jinken/company_detail.php?p=MDAwMDAwMDA2NA==)

#### ◆障がい者雇用

岩瀬コスファは障がいの有無にかかわらず働きやすい職場環境づくりに努めており、その結果、2024年度の障がい者雇用率は1.63%になりました。厚生労働省の定める「職場適応援助者(ジョブコーチ)支援」事業を活用しており、就労に支援が必要な従業員本人、事業主である岩瀬コスファの双方が専門的な助言を受けることで、理解を深め、雇用の安定を図っています。

#### ◆ジェンダー平等

岩瀬コスファは従業員間の相互理解を深め、成果を上げ続ける組織づくりのためにジェンダー平等を進めており、2024年12月時点の女性管理職比率は32.09%となりました。

## 労働および人権

### ◆差別・ハラスメントの禁止

岩瀬コスファはコンプライアンス規範に、当社のセクシャルハラスメントや職場でのいじめから従業員を保護することの重要性を明記しています。岩瀬コスファの従業員は下記コンプライアンス規範に記載されている原則を遵守しなければなりません。

※ コンプライアンス規範：  
<https://www.cosfa.co.jp/wp-corporate/wp-content/themes/cosfa-corporate/assets/pdf/compliance-charter-ja.pdf>

岩瀬コスファでは、毎年1回管理職向けにハラスメントに関する研修を行っています。さまざまな国籍の従業員が在籍しており、グローバルな事業展開を支える人材の育成ならびに多様な文化に対する相互理解の促進を図っています。

### ◆英国現代奴隷法への対応

岩瀬コスファは、英国現代奴隷法に対する声明を公表しています。本声明は岩瀬コスファグループ全体に適用されます。現在まで児童労働・強制労働は発生していませんが、引き続き現代奴隷法を遵守し、各国の法令遵守を徹底するとともに、定期的なモニタリングを実施していきます。

※ 2024年度「奴隷労働および人身取引」に対する岩瀬コスファグループの声明：  
<https://www.cosfa.co.jp/wp-corporate/wp-content/themes/cosfa-corporate/assets/pdf/SlaveryStatementFY-jp.pdf>

### 労務管理

岩瀬コスファは、すべての役員、従業員が国内外の法令および社内規程などを遵守の上、企業経営の適正性の確保に努め、コンプライアンスを最優先として業務を遂行するよう定めています。また、国際労働機関（ILO）の条約に基づくETIベースコード、国連グローバル・コンパクトの4原則などに基づきディーセント・ワークの実現を推進し、従業員のワークライフバランスの実現とエンゲージメントの向上を目指します。

### ◆従業員エンゲージメント向上に向けて

岩瀬コスファでは、従業員一人ひとりの成長が組織の成長につながると考え、従業員エンゲージメントの向上に取り組んでいます。具体的には、従業員の声を経営に反映するため、全従業員を対象とした従業員満足度調査を年に1回行っています。調査は第三者機関を通じて行い、個人が特定されることなく経営層に結果が伝えられます。この調査を通じて、より働きやすい職場環境を整え、エンゲージメントの向上を目指します。

また、従業員の声を直接反映する仕組みや、ワークライフバランスを重視した取り組み、時勢に合わせた働き方改革など、より働きやすい環境を目指した施策を実施しています。

### ◆従業員の声を反映する仕組み

岩瀬コスファでは、従業員の団結権と団体交渉権を認めることをコンプライアンス規範にて明確に宣言しています。労働基準法に則った正式なプロセスを経て、事業所ごとに過半数以上

の支持を得た従業員代表を選出し、労使協定を締結しています。

また、従業員の声を反映するため、役員と従業員代表は定期的に懇談会を開催しています。従業員代表は、事前に全従業員へ会議の開催を通知し、より良い職場環境を実現するため、労働条件や労働環境はもちろん、キャリア形成や教育制度、ダイバーシティへの取り組みなど、多岐にわたる従業員からの提案をヒアリングします。会社は懇談会で挙げられた提案について議論し、その実現可能性を検討し、実際に改善に取り組んでいます。

### ◆労働時間の管理、残業の削減

岩瀬コスファでは、労使協定に基づき、過重労働とならないよう残業時間のモニタリングを行っています。2024年度の一人当たり平均時間外労働は3.92（時間/月）となり、目標としている10（時間/月）を下回りました。

これはノー残業デーの定着および日々の長時間労働防止についての周知徹底の効果と見ていますが、従業員間の偏りの是正が引き続きの課題といえます。



## 労働および人権

## ◆最低賃金・生活賃金

最低賃金法に基づき定められた最低賃金制度を遵守し、それを上回る賃金の支払いを行っています。WageIndicator Foundationの提供する生活賃金データベースを使用して、自社が各地域での生活賃金の水準を満たしていることを確認し、生活賃金の支払いに努めるほか、現地の労働法制に則った、最低賃金や労働時間の管理を行い、定期的にモニタリングを行っています。各種手当のほか、従業員の退職後の生活を支えるため、退職金規程や、確定拠出年金制度を設けています。

## ◆テレワークの導入

コロナ禍でテレワーク・在宅勤務が全世界で急速に普及しました。岩瀬コスファでも政府の基本的対処方針に基づき、経団連加盟企業として在宅勤務を推奨し、テレワーク制度を導入しました。2024年度の平均テレワーク率は20.5%※です。

※テレワーク率：月ごとの（在宅実施人数/全従業員）×100の年間平均値

## ◆再雇用制度：シニア社員統合制度

企業に求められる長寿化を見据えた雇用制度への対応として、当社は定年年齢を62歳に引き上げました。

また、定年退職後も雇用機会を確保し、従業員一人ひとりの選択肢の幅を広げるため、「再雇用規程」を定め、67歳までの再雇用制度を導入しています。

従業員は希望すれば、定年後も67歳まで引き続き当社で働き続けることが可能です。さらに、その後においても本人の希望

があれば、双方協議の上、個別契約を締結できるよう制度を変更し、全社員に対して説明会を実施しました。

※2024年度 希望者再雇用実績：100%

## ◆さまざまな休暇制度

岩瀬コスファでは、従業員一人ひとりの事情に配慮した働き方を支援するため、有給休暇以外にも、育児休業、育児のための時短勤務、子の看護休暇、介護休暇、生理休暇など、さまざまな休暇制度を定めています。また、社会に貢献する人材を育成する、という目的で、ボランティア休暇を制定しました。これを利用することで、有給で社会貢献活動に参加することが可能です。

※働きやすい職場環境の整備：

<https://www.cosfa.co.jp/sustainability/social/internal-system/>

## ◆子育てサポート

2022年4月および10月に段階的に施行された育児介護休業法に基づいて、「育児休業規程」「介護休業規程」を変更し、全従業員に対して社内説明会を実施しました。育児・介護と仕事を両立するため、育児休業・介護休業の取得要件を見直し、より取得しやすい職場環境を整備しました。また、育児休業・産後/パパ育休の取得に関する研修を行い、相談窓口を設置しました。

## ◆社内サークル

サークル活動管理規程を制定し、従業員の親睦を図る社内サークルの活動を促進しています。現在、ゴルフ、フットサル、健康麻雀、テニスなど、有志による8種類のサークルが活動しています。

## 従業員労働安全衛生と健康

岩瀬コスファは、「美と健康」を取り扱う企業として、従業員の健康を重要なものと考えています。労働基準法、労働安全衛生法、および就業規則に基づき、「安全衛生管理規程」を定め、会社における安全衛生活動の充実を図っています。労働災害を未然に防止するために必要な基本的事項を明確にし、労働災害件数0件を目標に従業員の安全と身体の健康を確保するとともに、メンタルヘルスを向上させることで快適な職場環境の形成を促進します。

## ◆ISO45001認証取得

従業員の労働安全衛生の確保を目的に、2025年4月に、大阪本社・東京本社において、ISO45001を取得しました。



ISO45001 登録証

## 労働および人権

### ◆安全衛生管理規程

岩瀬コスファの安全衛生管理規程では、法令に基づき安全管理者、衛生管理者を設置することや、産業医の選任などの安全衛生管理体制と安全衛生委員会の設置について明確にしているほか、就業に当たっての安全衛生教育や職場環境の整備、健康診断、健康の保持増進措置などを定めています。

### ◆安全衛生委員会

岩瀬コスファは、労働安全衛生法に基づき、安全衛生委員会を設置し、毎月1回の定期的なミーティングの開催と従業員への情報提供を行っています。

### ◆安全安心な原材料の保存・管理

岩瀬コスファの大きな安全上のリスクの一つは、原材料が保管されている倉庫にあります。倉庫は、原材料の化学的特性に応じて保管場所を区分しています。これにより火災リスクと製品の劣化リスクを低減させています。管理業務担当者には年1回定期的に安全教育を実施しており、2024年3月に14名が参加しました。

また、安全データシート(SDS)は、化学物質の取り扱い、保管、輸送に関する物理的制約、健康および環境への被害、保護対策、安全上の注意事項を詳細に記した国際基準に沿った情報文書です。岩瀬コスファは、取引先に対して、購入するすべての製品のSDSを準備するよう要請し、従業員がこれらの対応と安全対策を徹底して遵守しているかを確認しています。

### ◆外部審査機関によるSMETA監査実施

SMETA監査は、国際労働機関(ILO)が定める国際労働基準やEthical Trading Initiative(ETI)のベースコードに基づく「労働基準」「安全衛生」「環境」「企業倫理」の4領域で構成され、労働者を保護することを目的としています。岩瀬コスファは、自社の課題を確認し、より従業員にとって安全で公正な労働環境を提供することを目的に、定期的にこの外部監査を実施しています。

### ◆従業員の健康診断・産業医制度

全従業員を対象とした年1回の健康診断の義務化に加え、オプション項目受診費用の補助や、「要再検査」と診断された従業員に対する検査費用の補助を行っています。当社で働く従業員は100%医療保険に加入しており、2024年度の健康診断受診率は100%でした。また、月1回産業医が来社しており、従業員は自由に健康相談を利用することが可能です。

その他、インフルエンザ予防接種の本人および被扶養者への補助や、「線虫がん検査N-NOSE®」の費用補助の導入など、従業員とその家族の健康維持・増進のためのサポートを提供しています。

### ◆ストレスチェックの導入

従業員の健康管理を目的として、労働安全衛生法に基づき、年1回のストレスチェックを実施しています。実施結果を自身で確認することで、セルフケアのさらなる充実を図り、職場全体のストレス傾向を把握することで働きやすい職場環境の形成を推進します。

### ◆顧客の健康と安全

岩瀬コスファは、従業員と同様に、すべてのステークホルダーの健康と安全の確保についても重視しており、これにつながる取り組みとして、法令や規格・基準の遵守や安定した高品質な製品の提供を行っています。さらに、安全上の問題が起きた場合に速やかに対応するための対応手順を定め、情報収集体制を構築し、消費者庁にも届出を行っています。2024年度の安全上における被害の報告はありませんでした。

### ◆就労支援施設との連携

佐賀県唐津市にある自社農園「唐津ウェルネスファーム」では、地域の就労支援施設や特別支援学校と連携して、きのご類の栽培を行っています。この活動を通して、障がいや困難を抱える状況にある方に働く場所や機会を提供し、地域に雇用を創出する一翼を担っています。また、地域の子供食堂へ収穫したきのこを提供することで地域の方々の生活をサポートしています。誰もが生き生きと輝ける社会を目指して、引き続き雇用機会創出に努めていきます。

## 労働および人権

## キャリアマネジメント・人材育成

岩瀬コスファでは、従業員一人ひとりが輝く企業を目指し、「人事の基本的な考え方」を定めています。

採用プロセスをホームページで公開し、透明性を担保した採用活動を行います。また、「Myじんけん宣言」に基づき、「いかなる理由でも差別をしない採用活動、人事制度」「個人を尊重し、個人と組織の力を最大化する人員の最適配置」「個人に求める成果・行動を明確にし、実績に応える実力に応じた評価制度」を導入し、お互いの個性を大切に思いやりながら、変わりゆく時代の中でも恐れずに新たなチャレンジをし続ける企業風土を目指します。

※ 人事の基本的な考え方:

<https://www.cosfa.co.jp/wp-corporate/wp-content/themes/cosfa-corporate/assets/pdf/recruit-policy.pdf>

## ◆求める人材像

岩瀬コスファでは、中期経営計画にて採用計画を定めています。これにより長期的な視点での人材育成や、ジョブローテーションが可能になり、個人の適性や能力を最大限発揮することにつながると考えています。重要な事業の柱である海外事業にも力を入れており、各種研修制度を導入し、世界で活躍するグローバル人材を育成します。また、採用に当たり多様性を重視しており、2024年度の男女採用比率は1:1.23になっています。創業時から続く「やってみなはれ」の精神で、自ら考え、行動する従業員のチャレンジを後押しします。

## ◆アイデア・バスケット制度の導入

岩瀬コスファは、従業員のチャレンジを推奨するため、2022年4月にアイデア・バスケット制度を導入しました。2024年にも、新たなビジネスアイデアや、革新的な業務改善などを従業員から募集し、従業員投票と各種審査の上、優秀なアイデアを表彰し、新たなビジネス機会へつなげています。

## ◆グローバル人材の採用・育成

海外事業の持続的な成長を実現し、グループの発展、安定に寄与することを目指し、国籍に関わらず、国内外からの人材採用を進めています。また、海外現地法人では、スタッフのほとんどを現地従業員とするなど、雇用の創出にも貢献しています。

その他、オンライン英会話や語学資格取得制度、社内公募による海外研修制度を導入し、世界で活躍するグローバル人材を育成します。

## ◆能力開発・成長機会の提供

岩瀬コスファは、従業員にさらなる成長機会を提供するため、さまざまな外部研修を導入しています。社内研修も積極的に実施しており、2024年度は「労務管理」「リーダーシップ・マネジメント」をテーマに、管理職研修を実施しました。

また、新入社員研修では、各部門の業務内容だけでなく、社会人としての基礎やパソコンスキルなどの教育を行うとともに、CSR教育を組み入れています。従業員のCSR意識の向上を目的として、2020年からは、全グループの従業員を対象に、当社

がCSRを果たす理由についての研修を実施しています。

すべての研修や成長機会は性別に関係なく提供されており、2024年度の研修時間は、一人当たり34.93時間でした。公正公平な人事制度の導入により、評価や賃金に男女格差がないことを確認しており、2024年度男女間賃金格差は1:0.93でした。

今後も適切な能力開発・成長機会の提供に努め、一人ひとりのチャレンジを後押しし、企業価値の向上を推進します。



総務部 部長  
笹倉 典行

「働きがい」と「働きやすさ」の両立を実現できるよう、様々な施策・取組みを行っています。従業員一人ひとりが、男女の区別なく、「将来なりたいと考える理想の姿」を実現できるよう、職務に応じた職系を設定し、キャリアパスや求める人材像について説明するとともに、成長を後押しする能力開発の機会を提供しています。

また、従業員が能力を最大限に発揮できるよう、労働安全に加え、心理的安全性も重視し取り組んでいます。これらの取り組みを継続的に改善し、さらなる進化を目指していきます。

## 環境

岩瀬コスファは、化粧品・健康食品原料商社として、原料の生産に関わる地球環境保全を最も重要なものとしてとらえています。自社の活動が環境に与える影響を認識し、環境保全に努めます。



### 基本的な考え方

岩瀬コスファは以下の環境方針のもと、定期的に環境データをモニタリングすることで、自社が環境に与える影響を認識し、環境負荷の低減に努めます。

### 環境方針

岩瀬コスファは、地球環境問題を人類共通の最重要課題の一つとして認識し、「地球環境保全に配慮した持続可能な目標」を設定するとともに、その実現に向け努力します。原料調達および販売の観点から、地球の恵みである資源の持続的な利用や環境負荷軽減を推進することで、グローバルにおける企業市民としての責務を全うし、社会に貢献します。岩瀬コスファは、事業活動のあらゆる場面において、環境関連の諸法令遵守と当社のコミットメントを実現します。また、事業活動が環境に与える影響を認識し、環境への配慮と汚染防止に向けて継続的に努力します。

次の5つの目標を2030年までに達成するように努めます。

#### ◆地球温暖化

2020年10月26日、菅首相が所信表明演説の中で「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言したことから、日本でカーボンニュートラルに対する注目が高まっています。岩瀬コスファはカーボンニュートラルに貢献できるように協力いたします。

・Scope1、2の排出量の70%減少を目指します。

※ ベースイヤー: 2019年

・当社が調達する電力のうち、50%を再生可能エネルギーで達します。

#### ◆廃棄物管理

環境に配慮し資源の有効活用や廃棄物の削減に取り組みます。  
・廃棄物排出量を売上数量の1%以下に保ちます。

#### ◆水使用量削減

水使用量、排水量を継続的に管理し、環境負荷低減と循環使用による水使用量の削減に努めています。限りある水資源を持続的に使用するため、今後もさらなる水資源の保護に努めます。  
・単年目標として総量削減目標1%/年を目指します。

#### ◆生物多様性

当社は、取り扱う化粧品・健康食品原料の生産が生物多様性の恩恵に依存しており、事業活動が生態系にさまざまな影響を及ぼす可能性のある事を認識しています。持続可能な社会の実現のため、生物多様性と健全性を重視し、これらへの影響を最小化するとともにステークホルダーと連携し、事業にかかわる生物多様性の保全と回復につながる活動に貢献していきます。今後、自然関連財務情報の開示ができるよう準備を進めています。

環境

◆地域環境

地域の一員として大気・水・土壌の汚染防止や騒音などの周辺環境に配慮し、法令、条例を遵守いたします。周辺地域との協調・共生をはかり、自然環境の保全と循環型社会の形成に努めます。

上記目標は、岩瀬コスファ株式会社および子会社9社を対象としています。この環境方針は、岩瀬コスファのCSR推進室長が毎年見直し、CSRレポートおよびホームページを通して、ステークホルダーの皆様にご公開します。

推進体制

岩瀬コスファは、全社で統一した環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。2003年に国内3拠点(大阪本社、東京本社、九州営業所および唐津ロジスティクス)を対象にISO 14001の認証を取得しました。また、ISO推進室を設置し、内部監査、外部審査および四半期ごとのPDCA会議にて、部門ごとの実施状況や進捗を確認しています。また、定期的に研修を実施し、従業員のEMSへの理解度を確認しています。

目標・KPI・実績

岩瀬コスファは、地球環境保全を重要な課題と位置づけ、自社における環境活動をモニタリングしています。2022年より稼働した新規事業、自社農園「唐津ウェルネスファーム」の影響により、前年度と比較して環境負荷が増大しましたが、モニタリングを継続し、引き続きエネルギー消費量の削減に努めています。

◆エネルギー消費量の削減

岩瀬コスファではエネルギー消費量の削減に努めています。2024年度は、新規事業である自社農園「唐津ウェルネスファーム」の電気消費量を削減できました。

KPI	2030年度 目標	2023年度 実績	2024年度 実績
電力消費量(kWh)	検討中	706,532	723,123
再エネから電力消費量(kWh)	50%	0	33% (242,879)

※ p.12 中長期目標に記載

◆サステナブル原料の販売

岩瀬コスファでは、サステナブル原料の販売に注力しており、毎年販売目標を設定しています。2024年は目標値に対して112%の達成となりました。

KPI	2030年度 目標	2023年度 目標	2024年度 実績
エコ商品販売実績(kg)	※	1,192,613	1,870,391

※ p.12 中長期目標に記載

◆廃棄物の削減

廃棄原料削減のため、倉庫の在庫管理システムを見直し、適切な管理を行うことで排出量の削減に努めています。

KPI	2030年度 目標	2023年度 実績	2024年度 実績
廃棄物排出量(t・売上数量%)	※	34 (0.10%)	23 (0.07%)

※ p.12 中長期目標に記載

◆温室効果ガスの削減

岩瀬コスファでは温室効果ガスの削減に努めています。2024年度は、再生可能エネルギーの導入により、Scope 2排出量及び従業員一人あたりの業務関連排出量を削減しました。

KPI	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
従業員一人あたり総排出量(tCO <sub>2</sub> e)	118	138	150
従業員一人あたりの業務関連排出量(tCO <sub>2</sub> e)	1.15	1.26	1.17
売上高当たりの温室効果ガス排出原単位(tCO <sub>2</sub> e/百万円)	1.28	1.39	1.46
Scope1(tCO <sub>2</sub> e)	74	96	104
Scope2(tCO <sub>2</sub> e) ロケーション基準	325	339	320
Scope2(tCO <sub>2</sub> e) マーケット基準	296	301	218
Scope3(tCO <sub>2</sub> e)	40,967	47,639	54,593
購入した製品	38,816	45,523	52,564
資本財	156	62	48
Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	68	70	56
輸送、配送(上流)	984	976	893.75
事業から出る廃棄物	87	27	48
出張	37	127	46
雇用者の勤務	76	89	61
輸送、配送(下流)	742	765	877

※ p.12 中長期目標に記載

## 環境

### 温室効果ガスの算定・開示

岩瀬コスファは、責任ある企業経営を遂行する上で、温室効果ガス(GHG)排出量の把握・管理の重要性を深く認識しています。GHG排出量のモニタリングを通じて、自社の環境負荷を評価し、低炭素経済への世界的な移行に即したビジネスモデルの構築を目指します。

#### ◆情報開示

当社は、温室効果ガス(GHG)の排出量報告をGHGプロトコル「企業経営・報告基準」に完全に整合させることを目指し、段階的な取り組みを進めています。本報告書では、昨年度の算定方法を基盤としつつ、情報の開示範囲をさらに拡充しました。

今後は、全子会社におけるデータ収集の精度向上および産出ロジックの改善を完了し、十分なデータの網羅性と品質が確保できた段階で、基準年のデータの再計算を実施する予定です。この再計算は、科学的根拠に基づく目標(SBT)の設定に向けた強固な基盤となります。

#### ◆報告および算定範囲(カバレッジ)

GHGインベントリは操業コントロールの連結アプローチ(Operational Control Consolidation Approach)に基づき算定し、岩瀬コスファおよび海外子会社、すべての拠点を対象としています。当社関連会社は組織境界外となり、インベントリに含まれていません。

#### ◆スコープ1の算定方法

Scope 1排出量は、岩瀬コスファ全拠点におけるガソリンおよび都市ガス・LPGの使用量(活動量データ)に基づき算定しています。算定には、環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量などの算定のための排出原単位データベース」に記載された排出係数を適用しています。

※ サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量などの算定のための排出原単位：  
[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/estimate\\_05.html](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_05.html)

#### ◆スコープ2の算定方法

##### 日本国内：

電気消費による排出量は「電気事業者排出係数一覧」に基づいて算定しています。

今年度からは、再生可能エネルギーの購入実績をより正確に反映させるため、マーケット基準による算定値も報告しています。GHGプロトコルのガイダンスに沿って、サプライヤー固有のデータが入手できない場合は、残余ミックス係数を使用し、残余ミックスも入手できない場合は平均グリッドミックスを用いています。

なお、日本国内の電気消費による排出量については、排出係数の都合上、CO2排出量のみを算出しています。

※ 電気事業者排出係数一覧：  
<https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/calc.html>

##### 海外：

海外拠点における電気消費による排出量は、原則としてサプライヤー固有の排出係数が取得できないため、各国の平均グリッドミックスを用いたLCIデータベースの排出係数を使用して算定しています。

なお、日本とは異なり、これらの排出量にはCO2以外の温室効果ガスも含まれています。また、マーケット基準の算定においては、海外拠点の排出量を日本の排出量に加えて算出しています。今後はデータ収集の網羅性と正確性の向上に努めていきます。

#### ◆スコープ3の算定方法

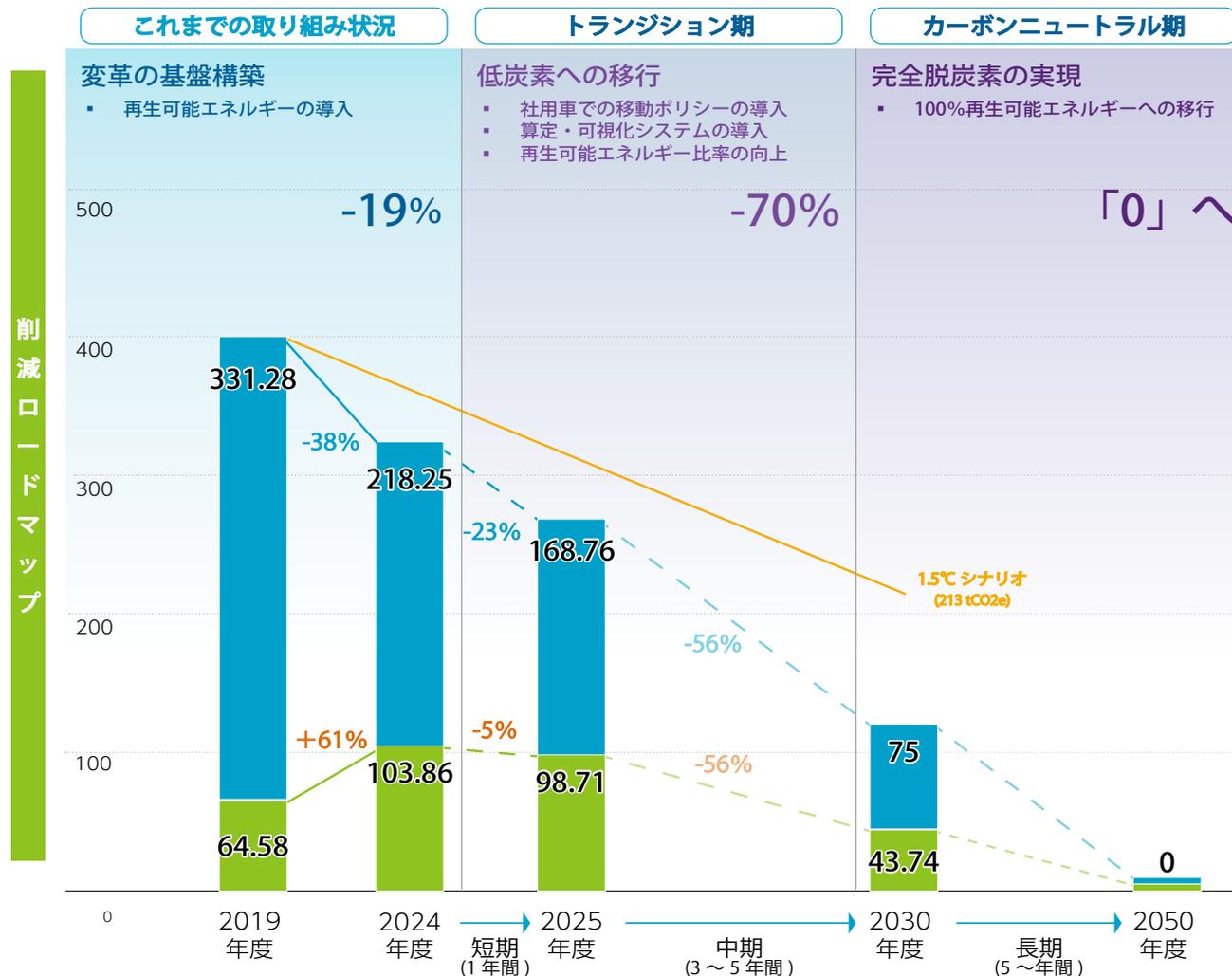
当社のスコープ3排出量は、可能な限りサプライヤー固有のデータを活用し、不足するデータは認定されたライフサイクルインベントリ(LCI)データベースからの業界平均排出係数を用いて算定しています。この算定においては、最新の科学的知見を反映した気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第6次評価報告書(AR6)に示された100年間の地球温暖化係数(GWP)を適用しています。これにより、報告の正確性と国際的な比較可能性を担保しています。

現在、スコープ3のカテゴリー1から7、およびカテゴリー9を報告しています。スコープ3の除外項目とその除外理由は、「温室効果ガス(GHG)算定方法 - Scope 3」(p.47)にまとめています。

環境

GHG排出量削減ロードマップ — スcope1と2 (マーケット基準)

(tCO<sub>2</sub>e) — ベースイヤー: 2019年



※1.5°Cシナリオ: IEA(International Energy Agency)からのデータ  
 ■Scope 1 ■Scope 2 (マーケット基準)

温室効果ガス及びエネルギー消費量の削減

◆排出削減ロードマップ

Scope1とScope2の削減ロードマップは、基準年排出量からの変化の規模を示しています。1.5°Cシナリオとの整合には、2030年までに基準年比で46.2%(213tCO<sub>2</sub>eまで)の削減が求められています。これに対し、当社の現行目標は70%の削減を掲げており、1.5°Cシナリオの軌道を先取りし、より深い脱炭素化を推進しています。

◆スコープ1

2024年には、燃料消費量の増加により、スコープ1が大幅に増加しました。これは主に社用車での移動に伴う排出が原因です。この削減に向けて、今後は可能な限りオンライン面談を活用する、社用車の電気自動車(EV)やハイブリッドカーへ置き換えるなどの対策を検討していきます。

◆スコープ2

2024年8月より、岩瀬コスファの電気消費量の約40%を占める「唐津ウェルネスファーム」に、再生可能エネルギー(水力発電)による電力を導入しました。これにより、スコープ2(マーケット基準)を大幅に削減できました。2025年末までには、再生可能エネルギーの電力比率50%超を達成し、設定した目標をクリアできる見込みです。

環境

◆スコープ3

当社のGHG総排出量の約99.8%を占めるスコープ3は、持続可能なサプライチェーン構築に不可欠であり、強固かつ協調的なアプローチが必要です。サプライヤーとの協働を通じ、データ品質の向上とGHG削減の取り組みを促進していきます。

流通・物流活動に伴う間接的な排出量削減のため、輸送慣行の改善に努めています。特に、GHG排出量の少ない輸送手段への切り替えや、出荷・在庫保管倉庫の集約による輸送距離の短縮を通じて排出量削減に取り組めます。これらの活動は、温室効果ガスだけでなく、大気汚染につながる揮発性有機化合物 (VOC)、硫黄酸化物 (SOx)、窒素酸化物 (NOx)、その他の微粒子の化合物削減にも貢献しています。

温室効果ガス (GHG) Scope 3 排出量 - 2024年度ガス種別内訳

(IPCC 2021 (AR6) - GWP 100y※1)

カテゴリー	kg CO2	kg CH4	kg N2O	kg HFCs	kg PFCs	kg SF6	kg NF3	kg その他 ※3	tCO2e
購入した製品	48,123,672.00	3,391,001.82	270,229.76	410,173.80	1,014.46	18,073.11	2.59	508,474.34	52,563.92
資本財	45,466.71	1,415.69	221.35	143.15	132.02	75.05	68.03	418.16	47.94
Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	18,687.75	4105.24	18.02	0.008	0.01	0.03	0.001	0.002	55.57
輸送、配送 (上流)	856,227.98	30,355.58	7,161.84	0.03	0.06	0.58	>0.001	0.008	893.75
事業から出る廃棄物	46,590.61	167.25	938.19	0.03	0.09	3.60	>0.001	76.92	47.70
出張※2	-	-	-	-	-	-	-	-	46.15
雇用者の勤務	58,885.50	1,842.91	279.24	0.008	0.33	22.01	>0.001	35.82	61.03
輸送、配送 (下流)	840,219.56	29,650.15	6,980.78	0.03	0.08	1.73	>0.001	407.56	876.85
Scope3 (tCO2e)									54,592.90.

※1:土地利用、土地利用変化及び林業関連排出を含まれていません

※2:Scope 3 カテゴリー6「出張」は、異なる算定方法をもとに計算されたため、内訳はありません

※3:GHGプロトコルの報告対象外となるその他の温室効果ガス(CFCs、NH3など)

◆短中期戦略

気候ガバナンスと開示を強化するため、国際的な主要フレームワークとの整合に向けた準備を進めています。

具体的には、2026年4月までにSBTi (科学的根拠に基づく目標イニシアティブ) へ正式にコミットし、2028年までには短期・長期目標を設定する予定です。加えて、スコープ1および2排出量については第三者保証の取得を目指します。

さらに、TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) および SASB (サステナビリティ会計基準審議会) の提言を取り入れ、気候リスクと機会に関する透明性を高めるよう努めていきます。

これらの取り組みを一層強化するため、次期中期経営計画では、データ収集の自動化及び可視化ツールの導入を検討していきます。海外を含むすべての拠点で、正確で詳細なインベントリを作成し、科学的根拠に基づく目標 (SBT) 達成に向けた基盤の強化を目指します。

環境

廃棄物およびCO2排出量削減への取り組み

もっとも簡単な廃棄物削減の方法は、廃棄物を発生させないことだと認識しており、環境への影響を最小限に抑えるために「5R原則」に基づいた包括的な廃棄物管理戦略を実施しています。



※「5R原則」

◆回避可能な廃棄物への取り組み

顧客からの信頼を得る上で、迅速で安定的な供給は不可欠です。このため、当社では自社での在庫保有を重要視しています。しかし、様々な理由で廃棄せざるを得ない、使用可能な原料在庫の多さが課題でした。特に、品質保証期限切れによる廃棄在庫が多く、この問題の解決に注力しています。

具体的には、倉庫の在庫管理システムを見直し、適切な管理を行うことで保証期限切れを防止しています。また、期限が迫った商品は安全性を確認した上でディスカウント販売を行い、廃棄量の削減に努めています。さらに、これまでは廃棄するしかなかった破損・破袋した輸送用プラスチックパレットをリサイクルすることで、資源を再利用し、CO2削減にも貢献しています。

当社はCO2排出量削減のため、外部倉庫の集約を進めています。これにより、倉庫間の輸送に伴う排出量を削減します。

また、一部エリアでは共同配送を実施し、可能な限り輸送エネルギーの削減に努めています。

◆ダネツジの活用による梱包資材の削減

ダネツジとは、輸送する積載物の形状に合わせて成形されたシートです。これにより、商品を積み重ねて梱包し、そのまま安全に輸送できます。このシステムは、従来の梱包資材の使用量を大幅に削減することに繋がります。岩瀬コスファでは、一斗缶の梱包にダネツジを導入し、繰り返し再利用することで、梱包資材の削減に取り組んでいます。

◆リーディングテナント行動方針

当社は環境省が推進する、テナントビルなどの脱炭素化を促す「リーディングテナント行動方針」に賛同しています。賛同企業による意見交換会への参加や議論を通じて、テナントビルでも環境負荷の低減やエネルギー消費量の削減に努め、働きかけを継続していきます。

※ リーディングテナント賛同企業一覧：  
[https://www.env.go.jp/earth/zeb/tenant/04\\_industry.html](https://www.env.go.jp/earth/zeb/tenant/04_industry.html)

◆TDMパートナーについて

当社は、2025年大阪・関西万博への協賛企業として、「TDMパートナー」として活動しています。TDM（交通需要マネジメント）とは、交通渋滞緩和と環境負荷低減を目指す取り組みです。当社は、公共交通機関の利用促進、自転車通勤の奨励、テレワーク活用などを通じ、万博期間中の交通混雑緩和に貢献します。

◆社内ECO活動

当社は、環境保護と資源の再利用のため、社内でエコ活動を推進しています。小さな取り組みを継続することで、従業員の環境意識を高め、資源のリサイクルや廃棄物の削減に努めています。

- ・紙コップの廃止
- ・クリアファイルの材質を再生PPに変更
- ・コロナ禍で導入したアクリルパーティションのリサイクル
- ・不要になった食器類の寄付



取締役  
 管理部 部長 兼  
 コンプライアンス推進室  
**石野 義貴**

当社は、自動発注AI「α-発注」による発注タイミングの最適化、および破損品・保証期限間近品の割引販売により、廃棄在庫金額を46.2%削減しました。さらに、プラスチックパレット68枚を再利用し、廃棄プラスチックの再資源化も進めています。

2025年度は、最適な在庫の見直しを一層推進する計画です。新倉庫では、太陽光エネルギーの活用、現場の業務負担軽減設備の導入、そして廃棄原料の有効活用を進めていく予定です。

MESSAGE

環境

サプライヤーエンゲージメント

岩瀬コスファは、世界的な課題である気候変動に対し、サプライヤーやパートナーと協力し、温室効果ガス (GHG) 排出削減に取り組むことの重要性を認識しています。

私たちは、SBTi (科学的根拠に基づく目標イニシアティブ) 認定目標をはじめとする意欲的な削減目標の設定を推奨しています。2024年からはサプライヤーへの地球温暖化・気候変動に関する働きかけを強化しており、その中で、2024年末時点で一次サプライヤーの3分の1以上がSBTターゲットを設定済みであることを確認しています。

KPI	2030年度目標	2024年度実績
独自目標設定済み仕入先	検討中	58.17%
SBTにコミット済み仕入先	検討中	3.46%
SBTターゲット設定済み仕入先	検討中	36.20%

※ 仕入高ベース

岩瀬コスファ次期中期経営計画(2026~2028年)の策定の一環として、2025年よりサプライヤーエンゲージメントに関する目標・ターゲットを設定していきます。

サステナブル原料の販売

岩瀬コスファは、CO<sub>2</sub>やその他の温室効果ガスの排出に起因する地球温暖化の問題を最も重要な課題として認識しており、気候変動の諸問題に対応するためにさまざまな対策を講じています。毎年、環境に対し直接的または間接的に環境負荷やリスクを低減できる原材料の販売目標を設定し、サステナブル原料の拡販に努めています。

2024年度は、サステナブル原料の販売を強化し、達成率112%で目標値を上回りました。

エコ商品の売上実績

エコ商品	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度予算比
①-1 植物由来原料 (kg)	1,187,909	1,188,108	1,700,894	110%
①-2 使用時に加熱工程を含まない原料 (kg)	100	1,247	3,080	194%
①-3 生産工程の短縮化が可能な原料 (kg)	1,960	1,600	10	17%
② 環境リスクの低減と防止が可能であると思われる原料 (kg)	219	1,648	166,407	143%
合計	1,190,188	1,192,613	1,870,391	112%

※ 目標値はp.46参照

【サステナブル原料(エコ商品)の定義】

①原料またはその資材自身が環境に対し直接的・または間接的に環境負荷やリスクを低減できるもので、例えば以下のものをいう。

- ①-1 植物由来原料
- ①-2 原料加工・使用時に加熱工程を含まない原料
- ①-3 使用することで生産工程の短縮化が可能な原料

②その原料を使用することで、環境リスクの低減と防止が可能であると思われるもので、例えば以下のものいう。

- ・グリーンケミストリーの原則に従って製造されている
- ・アップサイクル原料である
- ・100%天然由来であり、環境負荷が少ない

今後は、LCA(ライフサイクルアセスメント)なども活用し、原料調達から使用後の廃棄・リサイクルに至る製品ライフサイクルすべての段階において、より環境負荷低減に貢献できる原料の提供に努めていきます。

## 環境

## その他の環境活動

## ◆水使用量/排水量削減に向けた取り組み

限りある水資源を保全するため、岩瀬コスファでは水使用量・排水量削減に向け、継続的にモニタリングし、適切な管理と削減に努めています。2024年度には、2022年度に新規事業としてスタートした、自社農園「唐津ウェルネスファーム」における水使用量適正化などへの尽力の結果、水使用量を前年比で9.4%以上削減できました。

## ◆菌床の活用

岩瀬コスファは、美と健康に資する事業の一環として佐賀県唐津市で自社農園「唐津ウェルネスファーム」を運営し、きくらげをはじめとするきのこの栽培・販売を行っています。栽培後は、本来廃棄される菌床を地元の農業組合へ寄付し堆肥化、バイオ発電所での燃料化など、廃菌床の有効活用を行っています。その他にも、廃菌床で飼育したカブトムシを近隣の幼稚園に無償提供するなど、廃棄資源の削減や地域貢献をしています。



栽培している白いきくらげ

## ◆環境保護活動

アジア太平洋地域を主とする開発途上地域における自然環境の保全、および日本のすぐれた自然環境保全のために行う保護活動、及び持続可能な活用を行う助成事業に対して、「経団連自然保護基金」を通じて寄付を行っています。



科絲發國際貿易(廣州)「従業員の植樹活動」2024年

## ◆植樹活動

中国の「植樹の日」にちなんで、2024年3月18日に科絲發國際貿易(廣州)の社員(参加人数:28人)が苗木を植え、環境保護に貢献しました。この活動は、SDGsの達成をサポートするほか、社内のCSR意識の向上及び社員間のコミュニケーションの良化にもつながります。2024年3月28日に、科絲發國際貿易(上海)も植樹活動を実施しました。

今後も継続して、年に1回の植樹活動を実施していきます。また、岩瀬コスファグループ全体で地域環境の保全の重要性についての理解を深め、社員一人ひとりが地域の環境保全活動に参加できる機会を提供するよう努めています。

## 持続可能な調達

岩瀬コスファでは、サプライチェーン全体で持続可能な調達活動に取り組むことが重要だと認識しています。人権侵害や環境破壊につながる原料は決して調達、購入しないよう努めます。



### 基本的な考え方

岩瀬コスファでは、人権侵害や環境破壊、適正な労働環境などの問題は、サプライチェーン全体で取り組むことが重要だと認識しています。持続可能な調達方針のもと、認証原料の調達を推進するとともに、従業員およびサプライヤー・取引先のCSR教育・啓発に努めます。

### 持続可能な調達方針

岩瀬コスファは、より良い社会の実現、環境の保護、地域社会の発展を目指して、法令や諸規則を遵守するとともに、持続可能な調達活動を推進します。これらのコミットメントを実現するために、次の目標を達成するように努めます。

#### ・サプライヤーのCSRに対する認知度の向上

岩瀬コスファは、CSR活動に積極的に取り組んでいる企業とビジネスを行うため、サプライヤー倫理要綱を策定し、認知度向上に努めるとともに、サプライヤー教育を通して、サプライヤーが環境破壊や法令に違反し、結果的にサプライチェーンを混乱させる可能性を低減するよう尽力します。

- ・2025年までに岩瀬コスファの主要なサプライヤー<sup>※</sup>の70%からサプライヤー倫理要綱への署名を得ます。
- ・2025年までに岩瀬コスファの主要なサプライヤー<sup>※</sup>に対し、CSRアンケートを実施し、意見交換会などを通じて、サプライヤーのCSR認識の向上に努めます。

※ 主要なサプライヤーの定義: 仕入額50%以上を占める仕入先

#### ・持続可能な原料調達

岩瀬コスファは、持続可能な原料の調達に努めます。パーム油生産地における環境保全と、農園で働く人々の人権尊重を目的とした取り組みの一環として、2017年に国際的な非営利団体である「持続可能なパーム油に関する円卓会議 (RSPO)」に加盟しました。

- ・岩瀬コスファは、2030年までにパーム油・パーム核油由来原料を100%RSPO認証原料にすることを目指します。

#### ・購買活動にかかわる従業員のCSR理解度の向上

岩瀬コスファは、調達方針を遵守し、公正な取引を推進します。ビジネスパートナーとの公正かつ健全な関係の確立と法令の遵守について、購買活動にかかわる従業員にサプライチェーンにおける社会的、環境的問題に関する教育訓練の機会を提供し、CSR活動に対する理解度の向上を図ります。

- ・購買活動にかかわる従業員に、公正な取引に関する研修を毎年実施するように努めます。

この持続可能な調達方針は、岩瀬コスファのCSR推進室長がモニタリングした上で毎年見直し、CSRレポートを通して、ステークホルダーの皆様に公開します。

## 持続可能な調達

### 目標・KPI・実績

岩瀬コスファは持続可能な調達活動において最も重要なのはサプライヤーとの連携強化だと認識しています。サプライヤー倫理要綱への同意やサプライヤーアンケートを通じてCSR調達を進めています。

#### ◆ サプライヤープラクティス

2024年度は、仕入高ベースで68%の仕入先から、当社のサプライヤー倫理要綱に同意いただきました。昨年より署名率が下がったことを受け、仕入先の皆様への更なる説明を継続し、責任ある調達を推進していきます。

KPI	2025年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
サプライヤー倫理要綱署名率 (%)	70	70	68

#### ◆ 森林破壊のない調達

人権や環境に配慮した認証原料の調達・販売に努めます。2024年度のRSPO認証原料の調達率は、約61%となりました。今後も継続して認証原料の販売拡大に努めます。

KPI	2030年度 目標	2024年度 目標	2024年度 実績
RSPO認証原材料調達率 (%)	100	60	60.86

### サプライヤープラクティス

岩瀬コスファは、サプライチェーン全体でのCSR活動をさらに深めるため、サプライヤー全体を対象としたCSRアンケートを実施しています。このアンケート結果に基づき、サプライヤー教育の充実を図るとともに、会社の垣根を越えたサステナブル原料の拡販に取り組むなど、サプライヤーとの連携を一層強化していきます。

#### ◆ サプライヤー倫理要綱

岩瀬コスファは原料調達に関する考え方を明文化するため、2019年にサプライヤー倫理要綱を策定し、2023年度には新たな課題を盛り込み改訂しました。本倫理要綱は、すべてのサプライヤーの皆様にご同意をお願いするとともに、ホームページでステークホルダーの皆様にご公開しています。本倫理要綱は、2025年に更なる改定を予定しています。

#### 岩瀬コスファサプライヤー倫理要綱(概要)

1. CSRの推進・社会貢献・組織統治
2. 法令遵守・公正取引・企業倫理
3. 人権尊重・労働・安全衛生
4. 環境保全
5. 品質・安全性の保証
6. 機密および情報セキュリティ対策・知的財産保護
7. 情報開示・コミュニケーション・地域社会

※ サプライヤー倫理要綱(全文)は以下をご覧ください。  
<https://www.cosfa.co.jp/wp-corporate/wp-content/themes/cosfa-corporate/assets/pdf/SupplierCodeofEthics-jp.pdf>

#### ◆ サプライヤー評価プロセス

岩瀬コスファは、サプライチェーンのリスク特定と低減のため、CSRアンケートを通じて、一次サプライヤー(直接的な仕入先)を定期的に評価しています。品質・マネジメントに加え、サステナビリティやESG(環境・社会・ガバナンス)の観点から活動と取り組みを詳細に確認しています。

#### 評価プロセスの流れ

##### 新規サプライヤー

##### 0. 初期評価

- ・企業・原料情報

##### 既存サプライヤー

##### 1. 岩瀬コスファCSR自己評価表(SAQ)

EcoVadis評価取得済み仕入先:

- ・サプライヤー倫理要綱

EcoVadis評価未取得の仕入先:

- ・サプライヤー倫理要綱
- ・GCNJ共通SAQ※

##### 2. 是正処置

・「高リスク」と判断した仕入先には是正・改善をお願いしています

※ グローバルコンパクトネットワークジャパンが開発・配布したCSR調達のためのセルフ・アセスメント質問表:  
<https://www.ungcjin.org/activities/help/index.html>

## 持続可能な調達

### ◆岩瀬コスファCSR自己評価調査票

当社は、すべての一次サプライヤーを対象に、年1回のCSR自己評価アンケートを実施しています。このアンケートは、サプライチェーンにおける潜在的なリスクを特定し、サプライヤー各社の過去1年間の継続的な改善状況、そしてサプライヤー倫理要綱への遵守状況を確認することを目的にしています。調査項目には、当社の事業にとって特に重要なテーマである高リスクコモディティーの調達、温室効果ガス(GHG)排出量の測定、生物多様性保全への取り組み、リスク管理体制などが含まれます。また、サプライヤー各社の認証取得状況や、参加しているイニシアティブ(Sedex, CDPなど)についても確認しています。このCSRアンケートは、EcoVadis評価を補完するものとして活用しています。

2025年2月には、一次サプライヤー580社に協力いただきました。これは、サプライヤーの皆様当社のCSR活動に対する理解を深めていただく機会となるとともに、今後の当社のサプライチェーンマネジメントにおける重要な指標となります。

KPI	2024年 目標	2024年度 実績
調査対象社数	580社	580社
うち、主要サプライヤー※	15社	15社
回答比率	71%	68%
主要サプライヤー回答比率	100%	81.25%

※ 仕入高ベースで上位5割を占める仕入先

### ◆リスク特定

当社では、サプライヤーのリスクを評価するために、複数の要素を組み合わせ判断しています。主な評価指標は以下の通りです。

- ・岩瀬コスファCSR自己評価調査票への回答内容
- ・供給される製品やサービスの性質
- ・持続可能な方針や活動の策定・実行における成熟度
- ・当社サプライチェーン内での重要度(影響度の大きさ)

今後、リスク特定のプロセスをさらに見直し、より詳細な情報を報告できるよう努めていきます。

### ◆是正措置

リスクが確認されたサプライヤーに対しては、改善への協力を依頼し、その進捗状況を定期的にモニタリングしています。改善が見込めない、または人権、労働、環境などの法令を遵守していない場合には継続取引をしない場合があります。

### ◆CSR意見交換会

岩瀬コスファは、持続可能なサプライチェーンの実現には、関係者すべての積極的な参加と協力が不可欠だと考えており、サプライヤーとの相互理解を深める努力を続けています。

2023年後半からは「CSR意見交換会」を実施し、サプライヤーの皆様とサステナビリティに関する取り組みなどについて協議する場を設けています。この取り組みは、以下の3点を目的としています。

- ・サプライヤーが直面する課題の把握・理解
- ・ベストプラクティスの共有
- ・CSR課題の解決に向けた連携

※ 意見交換を実施した仕入先の割合:仕入高ベースで約3割(2024年12月時点)

持続可能な原料調達を実現するため、今後もこの取り組みを推進し、引き続きサプライヤーの皆様へのより適切かつ効果的なサポートに努めていきます。

## 持続可能な調達

### ◆ サプライヤー外部評価

岩瀬コスファでは、サプライヤーの外部評価への対応状況についても継続的にモニタリングしています。今後、当社サプライチェーン上のリスクをできるだけ軽減するために、サプライヤー外部評価に関する目標設定を検討していきます。

KPI	2030年 目標	2024年 実績
EcoVadis評価済仕入先	検討中	59%
CDP報告済仕入先	検討中	43%

※ 仕入高ベース

### ◆ サプライヤー支援

サプライチェーン全体で持続可能性を推進するためには、サプライヤーとのエンゲージメントと支援が不可欠であると認識しています。そのため、仕入先に対する、CSR関連のサポート提供や教育、能力開発への取り組みを大幅に強化していく予定です。

その第一歩として、2025年に当社一次サプライヤー向けのCSRウェビナーを開催します。これにより、サプライヤーの意識向上、ベストプラクティスの共有、および環境・社会的影響を管理するための知識とツールの提供を目指します。

### 責任ある調達

岩瀬コスファでは、サプライチェーン全体で持続可能な調達活動を推進し、サステナブルな社会の実現に貢献しています。人権侵害や環境破壊につながる原料調達を行わないため、海外拠点のすべてでRSPO流通業者ライセンスを取得するとともに、サステナブル原料や認証取得原料の調達、販売に努め、森林破壊のない原料調達を目指します。

### ◆ 高リスクコモディティ

岩瀬コスファでは、ステークホルダーとの協議と最新の規制要件や市場の期待に基づき、「高リスクコモディティ」の特定を検討しています。これらは、栽培や採掘の過程を通じて、人権侵害や環境破壊に繋がりがやすいとされ、リスクの低減が最優先されるものです。

自社の調達する製品の中からより高リスクなものを特定し、適切な管理と、リスクの低減に努めます。

### ◆ 原料トレーサビリティ

岩瀬コスファでは、サプライチェーンにおけるリスクを低減するため、すべてのパートナーと協働し、顧客に提供する製品のトレーサビリティ向上と、その由来に関する透明性を高める取り組みを進めています。

その一環として、バイヤーとサプライヤー間でトレーサビリティ情報の交換を可能にするプラットフォーム「Transparency-One」に登録し、パートナーからの情報提供の依頼に対応しています。



### ◆ 認証品調達・販売

岩瀬コスファは、持続可能な原料調達に関する認証を取得・維持することにより、より持続可能なサプライチェーンの構築に努めており、以下の認証を取得している原料を積極的に取り扱っています。

- ・RSPO認証
- ・Ecocert/Cosmos認証
- ・ハラール/ビーガン認証

## 持続可能な調達

### 森林破壊のない原料調達

岩瀬コスファは、パーム栽培が世界における森林破壊の主要な原因のひとつであることを認識しています。森林や自然生態系が地球環境に与える影響は、気候変動の緩和や生物多様性の保全に重要な役割を担っており、この危機的状況に対処するために早急に行動を起こさなければならないことが徐々に明らかになっています。また、パーム栽培は様々な人権問題、特に先住民の搾取や児童労働・強制労働に関連していることも認識しています。そのため、パーム由来原料の調達は当社の事業活動に重大な影響を及ぼす可能性があると考え、そのリスクを軽減するよう努めています。

### ◆RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil・持続可能なパーム油のための円卓会議)

岩瀬コスファは2017年からRSPOに加盟し、パーム油の生産地における環境保全と人権尊重に配慮した認証原料の調達に努めています。2024年現在までに海外拠点のすべてでRSPO流通業者ライセンスを取得しており、RSPOが推進するビジョンと価値観を共有し、「RSPO P&C (2018)」を基に原料調達に取り組んでいます。



2030年までにパーム油・パーム核油由来原料の100%をRSPO認証原料に切り替えることを目指しており、2024年度は取引量全体に占める60.86%がRSPO認証原料でした。

※ 岩瀬コスファRSPO会員ページ：  
<https://rspo.org/members/2-0751-17-000-00/>

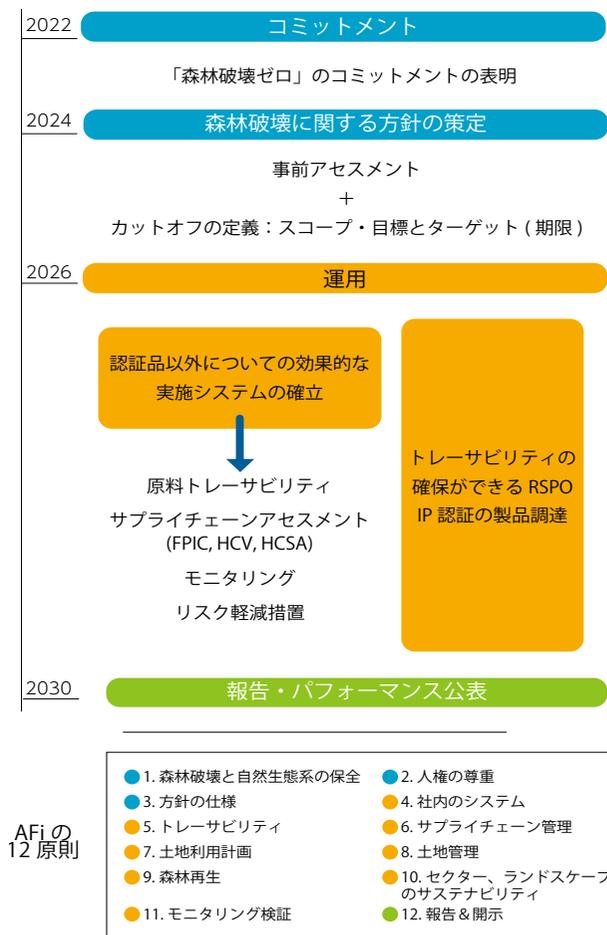
### ◆森林破壊ゼロへ

岩瀬コスファは、森林破壊のない原料調達を実現することを目指し、2030年に向けたロードマップを策定し、Accountability Framework Initiative (AFi)の12原則に沿って森林破壊ゼロの調達を目指します。

このロードマップの最初のステップとして、2022年にはNDPE (No Deforestation, No Peat, No Exploitation、森林減少禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止)原則を支持し、これに基づく調達の実現を目指すというコミットメントを本レポートを通じて公表し、サプライヤー倫理要綱にも追記しました。

2024年には、事前アセスメントを実施し、森林破壊に関する具体的な方針を策定する準備を進めました。

### 「森林破壊ゼロ」ロードマップ



※ 岩瀬コスファは法律を遵守し、欧州で販売する製品については、EUDR (EU森林破壊防止規則)に従うよう努めています。

## 持続可能な調達

### 紛争鉱物

岩瀬コスファは、紛争地域での非人道的行為や反政府組織の資金源となる可能性のある取引には関与しません。規制対象となる紛争鉱物を調達しないため、該当するすべての取引先と、取引原料に関するコンフリクトフリー（紛争鉱物不使用）の証明書を交わし、責任ある鉱物調達を推進しています。証明書が確認できないサプライヤーとは、継続取引を行わない場合があります。

- ・紛争鉱物レター（製品が紛争鉱物を使用していないことを証明する証明書）（対象社数 4社/4社） 100%

2024年、当社は鉱物調達に関する管理方法を改善し、すべてのステークホルダーと協力しながら、サプライチェーンにおけるリスクをさらに低減するための準備を進めました。

2025年末までに、OECDの「責任ある企業行動のためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」及び「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」を参照し、当社の持続可能な調達方針を再定義するとともに、リスクベースアプローチ（リスクの特定・対処・軽減）を用いた事業活動に努めていきます。

### 調達に関するその他の活動

#### ◆ パートナーシップ構築宣言について

当社は「パートナーシップ構築宣言」を策定し、サプライチェーン全体の共存共栄を目指します。これは、責任ある企業として、原材料供給企業様や協力会社様との公正な取引、および持続可能な関係を築くことを宣言するものです。相互理解と信頼に基づき、ともに価値を創造し、社会課題の解決に貢献していきます。



※岩瀬コスファ宣言：  
<https://www.biz-partnership.jp/declaration/69731-09-00-osaka.pdf>

#### ◆ ホワイト物流

岩瀬コスファは国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動<sup>\*</sup>に2022年に賛同し、6つの取り組み項目を定め自主行動宣言を提出しました。



「ホワイト物流」推進運動とは、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、女性や60代の運転者なども働きやすい「ホワイト」な労働環境の実現を目的に、物流を安定的に確保するための運動です。岩瀬コスファでは、パレット輸送の活用や、共同配送の推進に取り組むなど、サプライチェーン間の連携を強化し、物流問題の解消に貢献するとともに、環境負荷の低減を目指します。

※「ホワイト物流」推進運動：<https://white-logistics-movement.jp/list/>



CSR推進室 室長  
 芹澤 陽子

持続可能な原料調達は環境や社会への責任を果たす上で不可欠であると認識しており、この取り組みは資源の効率的な利用や環境保護、企業における社会的責任を担っていると考えております。規制環境が急速に変化する中、すべてのステークホルダーに対して当社のサプライチェーンにおけるリスクを特定ならびに軽減する責任を自覚しており、サプライチェーンの透明性を高めるよう努めております。これは、当社のお客様や仕入先様からの信頼向上にもつながります。サプライチェーン全体を見渡し、原材料の調達において社会・環境的な観点を重視して、今後も積極的に取り組んでいきます。



付属書

従業員数・男女比率 (2024年12月31日時点)

会社名	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
総計*	248	121	127	280	127	153	306	138	168	313	135	177	348	150	198	345	149	196	363	163	200
	100%	49.0%	51.0%	100.0%	45.0%	55.0%	100%	45.0%	55.0%	100%	43.0%	57.0%	100%	43.1%	56.9%	100%	43.1%	56.9%	100%	43.1%	56.9%
IWASE COSFA CO., LTD.	160	80	80	184	86	98	197	91	106	200	89	111	214	95	119	205	85	120	211	85	120
	65.0%	50.0%	50.0%	66.0%	47.0%	53.0%	64.0%	46.0%	54.0%	64.0%	45.0%	56.0%	61.5%	44.4%	55.6%	59.4%	41.5%	58.5%	58.1%	40.3%	56.9%
COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	25	12	13	26	12	14	23	9	14	30	12	18	30	12	18	30	14	16	39	14	25
	10.0%	48.0%	52.0%	9.0%	46.0%	54.0%	8.0%	39.0%	61.0%	10.0%	40.0%	60.0%	8.6%	40.0%	60.0%	8.7%	46.7%	53.3%	10.2%	32.4%	67.6%
COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	23	10	13	24	11	13	24	11	13	27	12	15	28	13	15	36	15	21	34	16	18
	9.0%	43.0%	57.0%	9.0%	46.0%	54.0%	8.0%	46.0%	54.0%	9.0%	44.0%	56.0%	8.0%	46.4%	53.6%	10.6%	41.7%	58.3%	9.4%	47.1%	52.9%
IWASE COSFA EUROPE S.A.S	9	6	3	11	4	7	17	6	11	18	6	12	22	10	12	26	12	14	28	12	16
	4.0%	67.0%	33.0%	4.0%	36.0%	64.0%	6.0%	35.0%	65.0%	6.0%	33.0%	67.0%	6.3%	45.5%	54.5%	7.5%	46.2%	53.8%	7.4%	40.7%	59.3%
IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	15	5	10	17	6	11	18	6	12	19	7	12	22	6	16	20	10	10	21	15	6
	6.0%	33.0%	67.0%	6.0%	35.0%	65.0%	6.0%	33.0%	67.0%	6.0%	37.0%	63.0%	6.3%	27.3%	72.7%	5.8%	50.0%	50.0%	5.5%	70.0%	30.0%
IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	5	3	2	4	2	2	3	2	1	4	2	2	7	3	4	5	2	3	7	4	3
	2.0%	60.0%	40.0%	1.0%	50.0%	50.0%	1.0%	67.0%	33.0%	1.0%	50.0%	50.0%	2.0%	42.9%	57.1%	1.4%	40.0%	60.0%	1.9%	57.1%	42.9%
IWASE COSFA USA INC.	2	1	1	3	2	1	3	2	1	4	3	1	4	2	2	5	2	3	6	4	2
	1.0%	50.0%	50.0%	1.0%	67.0%	33.0%	1.0%	67.0%	33.0%	1.0%	75.0%	25.0%	1.1%	50.0%	50.0%	1.4%	40.0%	60.0%	1.1%	50.0%	50.0%
IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	9	4	5	9	4	5	11	4	7	10	4	6	11	4	7	9	4	5	8	7	1
	4.0%	44.0%	56.0%	3.0%	44.0%	56.0%	4.0%	36.0%	64.0%	3.0%	40.0%	60.0%	3.2%	36.4%	63.6%	2.6%	44.4%	55.6%	1.7%	83.3%	16.7%
PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	0	4
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1%	0%	100%
IWASE COSFA MOROCCO SARL**	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0%	0%	0%
DAINIHONKASEI CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	4	1	4	6	1	5	10	5	5	9	5	4	9	5	4
	—	—	—	—	—	—	1.0%	25.0%	100.0%	2.0%	17.0%	83.0%	2.9%	50.0%	50.0%	2.6%	55.6%	44.4%	2.6%	55.6%	44.4%

\* 派遣労働者を含む / \*\* 出向者のみ / - : データなし

労働災害

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
労働災害数*	0	0	0	1	0	0	2
労働災害度数率**	0	0	0	0	0	0	0
労働災害強度率***	0	0	0	0	0	0	0

\* 労働災害: 労働者の業務上での負傷・疾病障害・死亡

\*\* 直接雇用の従業員の労働災害度数率=労働災害による死傷者数÷延べ労働時間数×1,000,000

\*\*\* 直接雇用の従業員の労働災害強度率=延べ労働損失日数÷延べ労働時間数×1,000

障がい者雇用(日本)

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
障がい者率	0.63%	0.54%	1.03%	1.76%	1.70%	1.63%	1.63%

付属書

管理職数 (2024年12月31日時点)

会社名	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性									
総計*	47	41	6	49	41	8	58	48	10	58	48	10	67	47	20	69	49	21	81	55	26
	100%	87%	13%	100%	84%	16%	100%	83%	17%	100%	83%	17%	100%	70%	30%	100%	69.6%	30.4%	100%	64.9%	32.09%
IWASE COSFA CO., LTD.	36	33	3	39	33	6	35	30	5	35	29	6	37	30	7	35	26	9	40	30	10
	77%	92%	8%	80%	85%	15%	60%	86%	14%	60%	83%	17%	60%	81%	19%	50.7%	74.3%	25.7%	49.4%	75%	25%
COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	1	1	0	1	1	0	1	1	0	4	2	2	5	2	3	5	2	3	9	6	3
	2%	100%	0%	2%	100%	0%	2%	100%	0%	7%	50%	50%	7%	40.0%	60.0%	7.2%	40.0%	60.0%	11.1%	66.6%	33.3%
COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	1	1	0	1	1	0	1	1	0	4	2	2	6	3	3	6	3	3	7	3	4
	2%	100%	0%	2%	100%	0%	2%	100%	0%	7%	50%	50%	7%	50%	50%	8.7%	50.0	50.0%	8.6%	42.9%	57.1%
IWASE COSFA EUROPE S.A.S	2	2	0	4	2	2	6	3	3	2	2	0	1	1	0	3	2	1	3	2	1
	4%	100%	0%	8%	50%	50%	10%	50%	50%	3%	100%	0%	3%	100%	0%	4.3%	66.6%	33.3%	3.7%	66.6%	33.3%
IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	1	1	0	1	1	0	1	1	0	4	2	2	3	0	3	2	1	1	2	1	1
	2%	100%	0%	2%	100%	0%	2%	100%	0%	7%	50%	50%	7%	0%	100%	2.9%	50.0%	50.0%	2.5%	50.0%	50.0%
IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	1	1	0	1	1	0	1	1	0	3	2	1	4	2	2	4	2	2	5	3	2
	2%	100%	0%	2%	100%	0%	2%	100%	0%	5%	67%	33%	5%	50%	50%	5.8%	50.0%	50.0%	6.2%	60	40
IWASE COSFA USA INC.	1	1	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	3	3	0	2	2	0
	2%	100%	0%	4%	100%	0%	3%	100%	0%	3%	100%	0%	3%	100%	0%	4.3%	100%	0%	2.5%	100%	0%
IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	4	3	1	4	3	1	4	3	1	4	3	1	5	3	2	5	3	2	5	3	2
	9%	75%	25%	8%	75%	25%	7%	75%	25%	7%	75%	25%	7%	60%	40%	7.2%	60%	40%	6.2%	60	40
PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	0	3
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7%	0%	100%
IWASE COSFA MOROCCO SARL**	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0%	0%	0%
DAINIHKASEI CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	5	5	0	6	6	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0
	—	—	—	—	—	—	9%	100%	0%	10%	100%	0%	10%	100%	0%	7.2%	100%	0%	6.2%	100%	0%

\* 役員を含む / \*\* 出向者のみ / — : データなし

離職率(日本)

指標	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
離職率	6.98	8.57	4.71	17.12	10.23	13.79	6.82	2.13

## 付属書

## 労働時間・有給休暇取得率・欠勤率

指標	会社名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
月の平均時間外労働（時間）	IWASE COSFA CO., LTD.	5.71	5.31	3.43	5.3	5.49	5.50	6.12
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	5	5	5	1	1	1	1
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	5	5	3	0.5	0.22	0.72	0.43
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0	0	0	0	0	0	0
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	3	3	3	3	3	0	0
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	16	16	16	163	156	4	8
	IWASE COSFA USA INC.	7.96	23.42	1.04	0	2.105	3.22	0.48
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	0	0	0	0	0	0
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—
	IWASE COSFA MOROCCO SARL*	—	—	—	—	—	—	0
岩瀬コスファグループ合計（平均）	5.71	5.1	3.44	5.55	6.83	3.65	3.92	
年次有給休暇取得率（%）	IWASE COSFA CO., LTD.	54.3%	55.5%	57.5%	69.8%	70.5%	70.2%	70.9%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	95.0%	97.0%	100.0%	98.0%	97.0%	99.0%	100.0%
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	73.1%	88.2%	76.0%	79.9%	87.6%	96.0%	96.0%
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	100.0%	5.0%	5.0%
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	70.0%	82.0%	95.0%	83.0%	86.0%	86.0%	90.0%
	IWASE COSFA USA INC.	0.0%	36.0%	44.0%	50.0%	78.0%	69.0%	77.0%
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	100.0%	100.0%	100.0%	69.0%	97.0%	97.0%
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—
	IWASE COSFA MOROCCO SARL*	—	—	—	—	—	—	0.0%
DAINIHONKASEI CO., LTD.	—	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
欠勤率（%）	IWASE COSFA CO., LTD.	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.05%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	IWASE COSFA USA INC.	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0.0%
	IWASE COSFA MOROCCO SARL*	—	—	—	—	—	—	0.0%
DAINIHONKASEI CO., LTD.	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

—：データなし / \* 出向者のみ

## 付属書

## 従業員訓練と教育

指標	会社名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
訓練時間 (時間)	IWASE COSFA CO., LTD.	318.5	558.2	2448.8	3042.3	2302	7531	16,080
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	300	300	300	300	300	37	33
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	20	20	384	513	298	298	237
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	—	—	649	171	54	137	98
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	600	720	830	900	1000	72	100
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	180	180	218	260	274.02	230	360
	IWASE COSFA USA INC.	0	0	24	56	40	24	31
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	—	13	48	324	64	186
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	104
	IWASE COSFA MOROCCO SARL*	—	—	—	—	—	N/A	N/A
参加人数 (人)	IWASE COSFA CO., LTD.	94	172	187	194	202	205	211
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	24	24	26	30	30	30	37
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	20	20	24	27	27	27	34
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	—	—	14	13	8	24	17
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	5	7	7	17	16	3	6
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	3	4	3	2	6	6	6
	IWASE COSFA USA INC.	0	0	3	4	4	6	6
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	—	5	3	7	4	5
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	1
	IWASE COSFA MOROCCO SARL*	—	—	—	—	—	N/A	N/A
一人当たり年間平均研修時間 (時間)	IWASE COSFA CO., LTD.	2	3	12.5	15.7	11.40	36.74	76.21
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	13	12	11.5	10	10	1	0.9
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	1	1	16	19	11	11	6.9
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	—	—	38	13.15	6.75	5.8	5.8
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	36	45	46	53	63	24	16
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	36	45	73	130	45.67	46	60
	IWASE COSFA USA INC.	0	0	8	14	10	4	31
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	—	1.3	16	29	7.1	30
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	104
	IWASE COSFA MOROCCO SARL*	—	—	—	—	—	N/A	N/A
	DAINIHONKASEI CO., LTD.	—	—	5	3	18.5	18.5	18.5
岩瀬コスファグループ合計 (平均)	14.67	17.67	23.48	30.43	22.81	17.13	34.93	

計算式：年間の総研修時間／各年度末の人員数

—：データなし／\* 出向者のみ

付属書

情報セキュリティ教育内容(日本)

指標	2021 年度					2022 年度			2023 年度		2024 年度	
研修項目	ケースで学ぶ!情報セキュリティの最新脅威	標的型攻撃によるパソコン乗っ取りの脅威と対策	内部不正と情報漏れい対策	職場のあるあるセキュリティ事故・対策前編「人的ミス対策編」		子ブタと学ぶ!情報セキュリティ対策の基本	あなたの組織が狙われている!標的型攻撃その脅威と対策	ウイルスはあなたのビジネスもプライベートも狙っている	情報セキュリティ定期研修	情報漏えい事件・事故事例	生成 AI 活用研修・生成 AI のリスクを学ぼう!	情報セキュリティ定期研修
実施回数 (回)	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
研修時間 / 回 (時間)	1.5	1.5	0.5	0.5	0.5	1	2	2	2	2	1	2
参加人数 (人)	11	159	175	175	175	218	140	140	140	140	211	211

コンプライアンス教育内容(日本)

指標	2021 年度					2022 年度	2023 年度				2024 年度	
研修項目	次世代リーダー研修会 (ハラスメント・著作権)	人権勉強会	著作権勉強会	CSR 勉強会	贈収賄勉強会	ハラスメント研修	ハラスメント防止研修	贈収賄・贈答品	著作権・肖像権	人権啓発研修	ハラスメント・人権・贈答品	CSR 勉強会
実施回数 (回)	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	3
研修時間 / 回 (時間)	1.5	1.5	0.5	0.5	0.5	1	2	2	2	2	1	2
参加人数 (人)	11	159	175	175	175	218	140	140	140	140	211	363

インシデント件数

指標	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
贈答手続き違反数	0	0	0	0	0	0	0	0
コンプライアンス違反数 (コンプライアンス推進規程第 14 条による不祥事：レベル 1 とレベル 2)	0	1	0	0	0	0	0	2
規制罰則	0	0	0	0	5	0	0	2
情報セキュリティ侵害数	0	0	0	1	1	3	0	3
内部通報件数	0	2	0	0	0	3	5	2
児童労働・強制労働 インシデントの報告件数	—	—	—	—	0	0	0	0

※ 2018 年度～2020 年度までは岩瀬コスファ(日本)のみ / 2021 年度より、岩瀬コスファグループへ対象範囲を拡大

—: データなし

付属書

環境データサマリー

指標	種類	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
石油類使用量 (L)	ガソリン	23,564.1	32,695.5	22,542.9	26,324.8	32,077.1	40,718.3	44,013.7
	ディーゼル	521.89	217.67	24.8	0	0	0	0
ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	都市ガス	95	85.76	108	89	806	702	631
	LPG	81	52.7	85.9	109.9	66.3	43.8	42.6
電力消費量 (Kwh)		431,529.2	577,814.8	602,224.1	580,556.5	702,773.9	706,532.7	723,123.1
	うち、再エネ由来	0	0	0	0	0	0	242,879.0
水使用量 (m <sup>3</sup> )	市水	92	71	73.18	3,191.98	2,779.6	2,683.9	2,429.0
	地下水	240	272	345	345	2,362	0	0
排水量 (m <sup>3</sup> )	下水道	767	1,129	1,063.28	1,140	1,968	1,968	1,525.0
	工場排水	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物排出量 (t)		25.12	38.99	22.97	30.0345	48.761	26.846	23.206
特別管理産業廃棄物・特定有害産業廃棄物排出量 (t)		0	0	0	0	0	0	0

GHG排出量 - (tCO<sub>2</sub>e)

指標	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
Scope 1	64.58	52.19	60.36	74.33	96.21	103.86
ガソリン	64.12	51.48	60.02	72.33	94.52	102.20
ガス	0.46	0.71	0.34	2	1.57	1.66
Scope 2	384.94	357.14	356.5	324.65	338.56	319.84
電力	384.94	357.14	356.5	324.65	338.56	319.84
Scope 3	33,414,596.6	53,645,097.1	49,996,860.1	40,966.8	47,638.8	54,592.9
購入した製品	33,394,843.2	53,632,825.6	49,982,890.7	38,816.7	45,523.6	52,563.92
資本財	17.51	37.42	12.79	155.80	61.71	47.94
Scope 1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	20.33	21.00	22.80	67.90	70.63	55.57
輸送、配送(上流)	828.10	1,308.80	1,158.18	984.10	976.01	893.75
事業から出る廃棄物	17,514.78	9,324.47	11,281.68	86.94	26.25	47.70
出張	350.20	39.79	41.46	37.31	127.19	46.15
雇用者の勤務	192.58	231.27	294.26	75.82	88.80	61.03
輸送、配送(下流)	828.01	1,308.80	1,1158.18	742.29	764.64	876.85
販売した製品の加工	—	—	—	—	—	—

—: データなし

エコ商品の販売目標・実績と予算比

指標		年度	目標 (kg)	実績 (kg)	予算比	
原料またはその資材自身が環境に対し直接的または間接的に環境負荷やリスクを低減出来るもの	植物由来	2018	504,100	519,847	103.12%	
		2019	556,600	464,682	83.49%	
		2020	1,306,100	837,398	64.11%	
		2021	1,403,900	1,167,447	83.16%	
		2022	1,217,340	1,187,909	93.58%	
		2023	1,285,800	1,188,108	92.80%	
		2024	1,550,050	1,700,894	109.7%	
		使用時に加熱工程を含まない	2018	3,000	0	0.00%
			2019	2,000	136	6.80%
			2020	-	-	-
			2021	800	80	10.00%
			2022	220	100	45.45%
	2023		400	1,247	311.76%	
	生産工程の短縮化が可能	2018	11,100	11,921	107.40%	
		2019	21,300	13,335	62.61%	
		2020	4,000	760	19.00%	
		2021	3,200	1,150	35.94%	
		2022	1,040	1,960	188.46%	
		2023	2,150	1,600	74.42%	
	環境リスクの低減と防止が可能であると思われるもの	環境に対して負荷のより少ないもの	2018	2,500	4,975	199.00%
			2019	300	0	0.00%
			2020	10,750	6,444	59.94%
			2021	4,290	3,821	89.07%
			2022	4,290	219	100%
2023			2,750	1,648	59.93%	
2024		116,080	166,407	143.4%		
合計		2018	520,700	536,743	103.08%	
		2019	580,200	478,153	82.41%	
		2020	1,320,850	844,602	63.94%	
		2021	1,412,190	1,172,498	83.00%	
		2022	1,218,820	1,190,188	97.65%	
	2023	1,285,800	1,192,613	92.75%		
2024	1,667,780	1,870,391	112.1%			

付属書

温室効果ガス (GHG) 算定方法 - Scope 3

カテゴリー	組織境界	データタイプ	算定手法	算定方法	除外項目	除外理由
1. 購入した製品	○	二次	金額ベース	$\Sigma$ 仕入品種類別金額 × 金額あたり排出係数	日本国内のみ	データ品質の不確実性
2. 資本財	○	二次	平均製品	$\Sigma$ 資本財量 × 資本財量あたり排出係数	なし	—
3. Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	○	二次	平均データ	$\Sigma$ エネルギー量 × エネルギー量あたり排出係数	なし	—
4. 輸送、配送(上流)	○	二次	距離ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国内: <math>\Sigma</math> 仕入品量 × 測定輸送距離 × 輸送手段別トンキロ法排出係数</li> <li>海外: <math>\Sigma</math> 仕入品量 × 測定輸送距離 × 輸送手段別トンキロ法排出係数</li> </ul>	日本国内、ヨーロッパ、または日本とヨーロッパ間流通のみ	データ品質の不確実性
5. 事業から出る廃棄物	○	二次	廃棄物種類固有	$\Sigma$ 廃棄物種類別量 × 廃棄物処理排出係数	日本国内のみ	データ取得不可
6. 出張	○	二次	その他	$\Sigma$ 社員数 × 社員あたり排出係数	なし	—
7. 雇用者の勤務	○	二次	距離ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国内: 各社員別通勤距離 × サプライヤー固有データ × 2 × 営業日数</li> <li>海外: 社員別移動手段 × 測定通勤距離 × 2 × 営業日数 × 人キロ排出係数</li> </ul> ⇒ 自社固有拠点別社員一人あたり平均排出原単位 × 社員数	なし	—
8. 上流のリース資産	—	—	—	—	—	該当しない (リース資産なし)
9. 輸送、配送(下流)	○	二次	距離ベース	$\cdot \Sigma$ 仕入品量 × 測定輸送距離 × トンキロ法排出係数	日本国内のみ	データ品質の不確実性
10. 販売した製品の加工	△	—	—	—	—	データ取得不可
11. 販売した製品の使用	—	—	—	—	—	該当しない (中間製品)
12. 販売した製品の使用後処理	—	—	—	—	—	該当しない (中間製品)
13. 下流のリース資産	—	—	—	—	—	該当しない (リース資産なし)
14. フランチャイズ	—	—	—	—	—	該当しない (フランチャイズなし)
15. 投資	○	—	—	—	—	該当しない (投資なし)

付属書

環境データ

指標	種類	会社名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
石油類使用量 (L)	ガソリン	IWASE COSFA CO., LTD.	11,034.0	9,730.1	6,519.5	7,557.5	7,769.3	8,449.4	9,314.6	
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	5,000	4,814.0	3,219.0	3,190.5	2,022.2	6,082.0	3,306.0	
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	5,000.0	5,000.0	4,275.0	2,410.0	2,937.0	4,118.0	3,847.0	
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	455.4	2,614.5	256.8	5,766.6	1,598.0	2,185.3	2,327.0	
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	3,346.0	3,420.0	4,476.0	4,476.0	4,524.0	4,742.0	5,347.0	
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	3,092.0	5,214.0	2,445.9	2,246.1	1,138.1	917.6	2,190.0	
		IWASE COSFA USA INC.	636.6	1,902.8	1,350.8	678.0	914.6	914.6	1,482.0	
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	0.0	0.0	0.0	11,174.0	10,754.8	16,200.0	
		PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0	
		IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	0	
			23,564.1	32,695.5	22,542.9	26,324.8	32,077.1	40,718.3	44,013.7	
		ディーゼル	IWASE COSFA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA EUROPE S.A.S	521.9	217.7	24.8	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0.0
	IWASE COSFA MOROCCO SARL		—	—	—	—	—	—	0.0	
		521.9	217.7	24.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	都市ガス	IWASE COSFA CO., LTD.	95.0	85.8	108.0	89.0	806.0	702.0	631.0	
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0.0	
		IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	0.0	
			95.0	85.8	108.0	89.0	806.0	702.0	631.0	
		LPG	IWASE COSFA CO., LTD.	81.0	52.7	85.9	109.9	66.3	43.8	42.6
			COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0.0
	IWASE COSFA MOROCCO SARL		—	—	—	—	—	—	0.0	
		81.0	52.7	85.9	109.9	66.3	43.8	42.6		

—: データなし

付属書

指標	種類	会社名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
水使用量 (m <sup>3</sup> )	市水	IWASE COSFA CO., LTD.	767.0	1,129.0	1,069.0	1,149.0	2,383.0	2,258.0	1,994.00
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	—
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	24.0
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	—	—	—	—	368.0	370.0	350.0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	92.0	71.0	64.9	12.5	14.6	15.9	21.0
		IWASE COSFA USA INC.	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	—	—	—	14.0	40.0	40.0
		PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	0.0
		859.0	1200.0	1133.9	1,161.5	2,779.6	2,683.9	2,429.0	
	地下水	IWASE COSFA CO., LTD.	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	—	—	—	—	—	0.0	0.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	—	—	—	0.0	2.4	0.0	0.0
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	240.0	272.0	345.0	345.0	—	0.0	0.0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA USA INC.	—	—	—	—	—	0.0	0.0
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0.0
IWASE COSFA MOROCCO SARL		—	—	—	—	—	—	0.0	
	240.0	272.0	345.0	345.0	2.4	0.0	0.0		
排水量 (m <sup>3</sup> )	下水道	IWASE COSFA CO., LTD.	767.0	1,129.0	1,055.0	1,140.0	1,968.0	1,880.0	1,525.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	—
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA USA INC.	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	—	—	—	—	—	—
		PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—
		IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	0.0
		767.0	1,129.0	1,063.3	1,140.0	1,968.0	1,880.0	1,525.0	
	工場排水	IWASE COSFA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		PT. IWASE COSFA INDONESIA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
IWASE COSFA MOROCCO SARL		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

—: データなし

付属書

指標	会社名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
電力消費量 (Kwh)	IWASE COSFA CO., LTD.	392,705.0	475,228.5	495,400.0	519,615.5	617,857.91	589,142.	604,121.37	
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	—	—	—	—	14,971.0	37,588.0	26,899.00	
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	10,993.0	13,800.0	4,275.0	10,385.0	9,681.0	16,290.0	22,429.00	
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	1,679.2	1,971.3	8,932.1	—	3,897.0	3,900.65	6059.74	
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	23,063.0	28,111.0	32,789.0	32,789.0	37,079.0	39,020.0	37,973.00	
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	3,089.0	3,904.0	7,358.0	8,597.0	7,686.0	7,770.0	9,393.00	
	IWASE COSFA USA INC.	—	—	—	—	—	—	—	
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	—	54,800.0	53,470.0	9,170.0	11,601.0	12,821.0	16,248.00	
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—	
	IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	0.0	
	DAINIHONKASEI CO., LTD. ※	—	—	—	—	(12,533.0)	—	(13,531.0)	
			431,529.2	577,814.8	602,224.1	580,556.5	702,773.91	706,531.65	723,123.1
	うち、再エネから (水力発電)	IWASE COSFA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	242,879.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
PT. IWASE COSFA INDONESIA		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
IWASE COSFA MOROCCO SARL		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	242,879.0	
産業廃棄物排出量 (t)	IWASE COSFA CO., LTD.	25.1	39.0	23.0	30.0	48.8	22.93	19.00	
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	2.07	
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	—	3.828	2.13	
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	
	IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.088	—	
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	—	
	IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	0.0	
		25.1	39.0	23.0	30.0	48.8	27.05	23.21	
特別管理産業廃棄物・特定有害産業廃棄物排出量 (t)	IWASE COSFA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	IWASE COSFA USA INC.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD.	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	PT. IWASE COSFA INDONESIA	—	—	—	—	—	—	0.0	
	IWASE COSFA MOROCCO SARL	—	—	—	—	—	—	—	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

—: データなし / ※: 参照に (合計に含まれていない)

付属書

GRI内容索引

・共通スタンダード

GRI 1: 基礎 2021

利用にする声明:	「岩瀬コスファは GRI スタンダードを参照し、2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間について、本 GRI 内容索引に記載した情報を報告する。」
利用したGRI 1:	GRI 1 基礎 2021

GRI 2: 一般開示事項 2021

1. 組織とその報告慣行	掲載場所
2-1 組織の詳細	P2 「企業情報」
2-2 組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	P2 「企業情報」
2-3 報告期間、報告頻度、連絡先	P5 「編集方針」
2-4 情報の修正・訂正記述	P29 「環境>エネルギー消費・温室効果ガスの削減」
2-5 外部保証	岩瀬コスファのマネジメント・システム <a href="https://www.cosfa.co.jp/sustainability/evaluation/">https://www.cosfa.co.jp/sustainability/evaluation/</a>
2. 活動内容と労働者	掲載場所
2-6 活動、バリューチェーン、その他の取引関係	事業紹介 <a href="https://www.cosfa.co.jp/business/">https://www.cosfa.co.jp/business/</a>
2-7 従業員	P37 「付属書 >従業員数・男女比率」
2-8 従業員以外の労働者	該当せず（当社の事業形態による）
3. ガバナンス	掲載場所
2-9 ガバナンス構造と構成	P15-18 「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」
2-10 最高ガバナンス機関における指名と選出	現時点では非開示
2-11 最高ガバナンス機関の議長	現時点では非開示
2-12 インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	現時点では非開示
2-13 インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	現時点では非開示
2-14 サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	現時点では非開示
2-15 利益相反	現時点では非開示
2-16 重大な懸念事項の伝達	現時点では非開示
2-17 最高ガバナンス機関の集合的知見	現時点では非開示
2-18 最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	現時点では非開示

付属書

2-19	報酬方針	現時点では非開示
2-20	報酬の決定プロセス	現時点では非開示
2-21	年間報酬総額の比率	現時点では非開示
4. 組織とその報告慣行		掲載場所
2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	P6-7「トップメッセージ」
2-23	方針声明	P6-7「トップメッセージ」 P8「CSR マネジメント>ステークホルダーとのコミュニケーション」 P11「CSR マネジメント>岩瀬コスファのマテリアリティ」
2-24	方針声明の実践	P6-7「トップメッセージ」 P11「CSR マネジメント>岩瀬コスファのマテリアリティ」
2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
2-27	法規制遵守	P15-18「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
2-28	会員資格を持つ団体	P8「CSR マネジメント>ステークホルダーとの協働」
5. ステークホルダー・エンゲージメント		掲載場所
2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	P8「CSR マネジメント>ステークホルダーとの協働」 P8「CSR マネジメント>ステークホルダーとのコミュニケーション」 P11「CSR マネジメント>岩瀬コスファのマテリアリティ」
2-30	労働協約	P22「労働及び人権>労務管理」

GRI 3: マテリアルな項目 2021

マテリアルな項目に関する開示項目		掲載場所
3-1	マテリアルな項目の決定プロセス	P11「CSR マネジメント>岩瀬コスファのマテリアリティ>マテリアルな項目の特定プロセス」
3-2	マテリアルな項目のリスト	P11「CSR マネジメント>岩瀬コスファのマテリアリティ」 P12-13「CSR マネジメント>岩瀬コスファ中長期目標」
3-3	マテリアルな項目のマネジメント	P11「CSR マネジメント>岩瀬コスファのマテリアリティ」 P15-19「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P20-25「労働及び人権>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P26-33「環境>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P34-49「持続可能な調達>基本的な考え方～目標・KPI・実績」

## 付属書

## ・項目別スタンダード

## 経済項目

GRI 202: 地域経済での存在感 2016		掲載場所
202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率（男女別）	情報が入手不可
202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	P42「付属書 > 管理職数」
GRI 203: 間接的な経済的インパクト 2016		掲載場所
203-1	インフラ投資および支援サービス	情報が入手不可
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	情報が入手不可
GRI 204: 調達慣行 2016		掲載場所
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	情報が入手不可
GRI 205: 腐敗防止 2016		掲載場所
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	現時点では非開示
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	P15-18「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	P15-18「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
GRI 206: 反競争的行為 2016		掲載場所
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	P15-18「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」 P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
GRI 207: 税の透明性 2016		掲載場所
207-1	税務へのアプローチ	現時点では非開示
207-2	税務ガバナンス、管理、およびリスクマネジメント	現時点では非開示
207-3	税務に関連するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対処	現時点では非開示
207-4	国別の報告	現時点では非開示

## 付属書

## 環境項目

GRI 301 : 原材料 2016		掲載場所
301-1	使用原材料の重量または体積	該当せず（当社の事業形態による）
301-2	使用したリサイクル材料	P31「環境＞サステナブル原料の販売」
301-3	再生利用された製品と梱包材	該当せず（当社の事業形態による）
GRI 302 : エネルギー 2016		掲載場所
302-1	組織内のエネルギー消費量	P48-50「付属書＞環境データ」
302-2	組織外のエネルギー消費量	P48-50「付属書＞環境データ」
302-3	エネルギー原単位	現時点では非開示
302-4	エネルギー消費量の削減	P48-50「付属書＞環境データ」
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	該当せず（当社の事業形態による）
GRI 303 : 水と廃水 2018		掲載場所
303-1	共有資源としての水との相互作用	P26「環境＞環境方針」
303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	現時点では非開示
303-3	取水	P48-50「付属書＞環境データ」
303-4	排水	P48-50「付属書＞環境データ」
303-5	水消費	P48-50「付属書＞環境データ」
GRI 304 : 生物多様性 2016		掲載場所
304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地に所有、賃借、管理している事業サイト	情報が入手不可
304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	情報が入手不可
304-3	生息地の保護・復元	情報が入手不可
304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCN レッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	情報が入手不可
GRI 305 : 大気への排出 2016		掲載場所
305-1	直接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ1）	P46「付属書＞GHG排出量」 P29「環境＞エネルギー消費・温室効果ガスの削減」
305-2	間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ2）	P46「付属書＞GHG排出量」 P29「環境＞エネルギー消費・温室効果ガスの削減」
305-3	その他の間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ3）	P46「付属書＞GHG排出量」 P29「環境＞エネルギー消費・温室効果ガスの削減」

## 付属書

305-4	温室効果ガス（GHG）排出原単位	現時点では非開示
305-5	温室効果ガス（GHG）排出量の削減	P46「付属書＞GHG排出量」 P28「環境＞エネルギー消費・温室効果ガスの削減」
305-6	オゾン層破壊物質（ODS）の排出量	情報が入手不可
305-7	窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の重大な大気排出物	情報が入手不可

## GRI 306: 廃棄物 2020

## 掲載場所

306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	P26「環境＞環境方針」
306-2	廃棄物関連の著しいインパクトの管理	P26-27「環境＞基本的な考え方～目標・KPI・実績」
306-3	発生した廃棄物	P48-50「付属書＞環境データ」
306-4	処分されなかった廃棄物	P48-50「付属書＞環境データ」
306-5	処分された廃棄物	P48-50「付属書＞環境データ」

## 社会項目

## GRI 401: 雇用 2016

## 掲載場所

401-1	従業員の新規雇用と離職	P42「付属書＞離職率」
401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	正規 / 非正規の雇用形態により手当の差はない
401-3	育児休暇	現時点では非開示

## GRI 402: 労使関係 2016

## 掲載場所

402-1	事業上の変更に関する最低通知期間	P22「労働及び人権＞労務管理」
-------	------------------	------------------

## GRI 403: 労働安全衛生 2018

## 掲載場所

403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	P22「労働及び人権＞労務管理」 P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」
403-2	危険性（ハザード）の特定、リスク評価、事故調査	P22「労働及び人権＞労務管理」 P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」
403-3	労働衛生サービス	P22「労働及び人権＞労務管理」 P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	P22「労働及び人権＞労務管理」 P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」
403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	P25「労働及び人権＞キャリアマネジメント・人材育成」
403-6	労働者の健康増進	P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と軽減	P22「労働及び人権＞労務管理」 P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」
403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	P23-24「労働及び人権＞従業員の労働安全衛生と健康」

## 付属書

403-9	労働関連の傷害	P20-21「労働及び人権>基本的な考え方~目標・KPI・実績」 P42「付属書>労働災害」
403-10	労働関連の疾病・体調不良	P20-21「労働及び人権>基本的な考え方~目標・KPI・実績」 P42「付属書>労働災害」
GRI 404: 研修と教育 2016		掲載場所
404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	P20-21「労働及び人権>基本的な考え方~目標・KPI・実績」 P46「付属書>従業員訓練と教育」
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	P23「労働及び人権>労働慣行>再雇用制度: シニア社員統合制度」 P25「労働及び人権>キャリアマネジメント・人材育成」
404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	P25「労働及び人権>キャリアマネジメント・人材育成」
GRI 405: ダイバーシティと機会均等 2016		掲載場所
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	現時点では非開示
405-2	基本給と報酬総額の男女比	P25「労働及び人権>キャリアマネジメント・人材育成」
GRI 406: 非差別 2016		掲載場所
406-1	差別事例と実施した救済措置	P19「コーポレートガバナンスと倫理>コンプライアンス・汚職防止・公正な取引」
GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016		掲載場所
407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	現時点では非開示
GRI 408: 児童労働 2016		掲載場所
408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	P22「労働及び人権>人権尊重>英国現代奴隷法への対応」
GRI 409: 強制労働 2016		掲載場所
409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	P22「労働及び人権>人権尊重>英国現代奴隷法への対応」
GRI 410: 保安慣行 2016		掲載場所
410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	該当せず（当社の事業形態による）
GRI 411: 先住民族の権利 2016		掲載場所
411-1	先住民族の権利を侵害した事例	該当せず（当社の事業形態による）

## 付属書

GRI 413: 地域コミュニティ 2016		掲載場所
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発 プログラムを実施した事業所	P8「CSR マネジメント>ステークホルダーとのコミュニケーション」
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在的、潜在的）を及ぼす事業所	情報が入手不可
GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント 2016		掲載場所
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	P36-37「持続可能な調達>サプライヤープラクティス」
414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	P36-37「持続可能な調達>サプライヤープラクティス」
GRI 415: 公共政策 2016		掲載場所
415-1	政治献金	現時点では非開示
GRI 416: 顧客の安全衛生 2016		掲載場所
416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	P23-24「労働及び人権>従業員の労働安全衛生と健康」
416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	該当せず（当社の事業形態による）
GRI 417: マーケティングとラベリング 2016		掲載場所
417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	該当せず（当社の事業形態による）
417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	該当せず（当社の事業形態による）
417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	該当せず（当社の事業形態による）
GRI 418: 顧客プライバシー 2016		掲載場所
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	P15-18「コーポレートガバナンスと倫理>基本的な考え方～目標・KPI・実績」



CSR REPORT 2025

お問い合わせ  
岩瀬コスファ CSR 推進室  
[cosfa-csr@cosfa.co.jp](mailto:cosfa-csr@cosfa.co.jp)